

令和3年6月30日現在



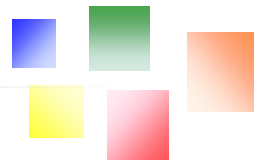
豊川市行政経営改革プラン

豊川市行政経営改革アクションプラン

具体的取組評価結果票

(令和2年度分)





目 次

1	全体の取組結果	・ ・ ・ ・	1
2	重点取組の評価結果	・ ・ ・ ・	3
3	重点取組以外の評価結果	・ ・ ・ ・	2 8



1 全体の取組結果

■概要

行政経営改革アクションプラン（令和2年度～令和4年度/2020年度～2022年度）で掲げた目標について、令和2年度における全体の取組結果の概要は、次のとおりです。

① 実施率について
■実施率：目標値100%（114件）⇒実績値100%（114件）
② 収入増加額・支出削減額について
■収入増加額・支出削減額：目標値2.5億円以上⇒実績値2.9億円
■目標を超えるもの：3件 ■目標に至らないもの：7件（財政・資産の別掲分含む。）
③ 将来像別の評価結果による点数について
■進捗度評価点：66.3点／100点 ■効果の達成度評価点：63.7点／100点
④ 進捗度評価（計画と比較した進捗度の評価）について
■3点（計画を超える進捗）：0件 ■1点（計画に至らない進捗）：1件 ■0点（中止・保留）：0件
⑤ 効果の達成度評価（目標とする効果と比較した達成度の評価）について
■3点（目標を超える効果達成）：3件 ■1点（目標に至らない効果達成）：13件
■0点（工程どおりに開始せず、効果がないもの）：0件

■集計結果

※目標の件数は、次年度以降のアクションプランでは、全体の取組件数の変更に伴い変更されますが、割合は変更されません。

① 実施率（具体的取組の実施状況（検討などを含まない。））

全114件の取組中、実施状況が「取組開始」「取組中」「実施」「完了」となった件数及び割合

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標	件数	101件以上	105件以上	109件以上	111件以上	114件
	割合	89%以上	92%以上	95%以上	97%以上	100%
実績	件数	104件	108件	109件	109件	114件
	割合	92.0%	94.7%	95.6%	95.6%	100%

② 収入増加額・支出削減額（取組みを実施しなかった場合と比較して得られた収入増加額と支出削減額の合計）

全114件の取組中、収入増加額・支出削減額が得られた合計額

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標	2.5億円以上	2.5億円以上	2.5億円以上	2.5億円以上	2.5億円以上
実績	4.1億円	2.9億円	3.3億円	2.6億円	2.9億円

③ 将来像別の評価結果による点数

合計で100点満点。全て計画どおり、目標どおりの場合：66.5点。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
進捗度評価点	67.6点	67.5点	67.0点	66.5点	66.3点
効果の達成度評価点	68.9点	68.1点	68.0点	67.9点	63.7点

④ 進捗度評価の状況

全ての取組における進捗度評価（計画と比較した進捗度の評価）の件数、将来像別評価点数（将来像ごとに20点を配点し、合計で100点満点。全て計画どおり、目標どおりの場合：66.5点）

※進捗度評価 3点：計画を超える進捗 2点：計画どおり進捗 1点：計画に至らない進捗 0点：中止・保留

<自己評価>

	3点	2点	1点	0点	計	点数
将来像1市民・協働	0件	19件	0件	0件	19件	13.3点
将来像2情報・共有	0件	19件	0件	0件	19件	13.3点
将来像3財政・資産	0件	31件	1件	0件	32件	13.1点
将来像4組織・仕組	0件	15件	0件	0件	15件	13.3点
将来像5人材・品質	0件	29件	0件	0件	29件	13.3点
合計	0件	113件	1件	0件	114件	66.3 点

<審議会評価>

	3点	2点	1点	0点	計	点数
将来像1市民・協働						
将来像2情報・共有						
将来像3財政・資産						
将来像4組織・仕組						
将来像5人材・品質						
合計						

⑤ 効果の達成度評価の状況

全ての取組における効果の達成度評価（目標とする効果と比較した達成度の評価）の件数、将来像別評価点数（将来像ごとに20点を配点し、合計で100点満点。全て計画どおり、目標どおりの場合：66.5点）

※効果の達成度評価 3点：目標を超える効果達成 2点：目標どおりの効果達成
1点：目標に至らない効果達成 0点：工程どおり開始せず、効果がないもの

<自己評価>

	3点	2点	1点	0点	計	点数
将来像1市民・協働	0件	16件	3件	0件	19件	12.3点
将来像2情報・共有	0件	18件	1件	0件	19件	13.0点
将来像3財政・資産	3件	25件	4件	0件	32件	13.1点
将来像4組織・仕組	0件	14件	1件	0件	15件	12.9点
将来像5人材・品質	0件	25件	4件	0件	29件	12.4点
合計	3件	98件	13件	0件	114件	63.7 点

<審議会評価>

	3点	2点	1点	0点	計	点数
将来像1市民・協働						
将来像2情報・共有						
将来像3財政・資産						
将来像4組織・仕組						
将来像5人材・品質						
合計						

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	市民協働国際課
施策	① 市民参画の推進		
改革手段	2 市民参画機会の増加		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	12

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				令和元	2	3	4			
1	重点2	市民参画機会の増加	町内会への加入促進策を実施し、町内会の積極的な取組に対して支援する。	>>>>>>>>>>>>>>>				・地域全体でのまちづくりの推進	市民協働国際課	
				加入促進策や支援策の検討・実施					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	- 引き続き、小学校3年生を対象に出前講座を実施するとともに、町内会加入促進事業や、町内会応援事業を実施する。 - 新たに、課題解決に意欲のある町内会にアドバイザーを派遣するとともに、庁内プロジェクトチームを設置し、町内会加入率低下対策を検討する。				
取組内容	【取組中】 - 町内会啓発冊子を作成し全小学校に配布するとともに、町内会役員等と協働して小学3年生の社会科授業で出前講座を実施した。 - 事業所等の協力を得て町内会応援事業を実施し、財政的支援を行った。 - 町内会に向けてやさしい日本語出前講座を実施し、外国人市民との円滑な会話の方法を学び、町内活動への参加促進を図った。 - 町内会アドバイザー派遣事業を実施し、専門的な知識をもつアドバイザーを派遣して、町内会運営の課題を洗い出し、解決方法を検討した。 - 課を横断したプロジェクトチームを結成し、加入率低下対策の一つとしてZOOMを使ったオンライン会議や町内会に参加を依頼している会議の回数削減など、負担軽減について取り組んだ。				
取組による効果	- 市内20小学校が啓発冊子を活用し、うち5校で出前講座を実施したことで、児童に町内会への意識の啓発を図ることができた。 - 町内会応援事業所を7件追加し、13町内会が街路灯、防犯カメラの設置や事務用品の購入などに割引等のサービス提供を受けるなど、町内会の財政的支援を図ることができた。 - やさしい日本語出前講座を10町内会が受講し、外国人市民に町内会加入を促す手法を身につけることができた。 - 町内会アドバイザー派遣事業に4団体が参加し、課題解決への方向性を導き出すことができた。 - 課を横断したプロジェクトチームの11課のうち7課が町内会の負担軽減と取組を実施した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・外国人の町内会加入促進やアドバイザー派遣をした町内会と課題解決に向けた方向性を導いたり、庁内で町内会負担軽減への取組みができ、町内会加入率は低下したものの、加入世帯数を増加させることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・町内会への加入を促進するため、町内会活動の活性化を図るとともに、町内会が抱える課題解決に向けて様々な手法で支援する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き、小学校3年生を対象に出前講座を実施するとともに、町内会加入促進事業や、町内会応援事業を実施する。 ・新しい生活様式に対応した町内会運営のＩＣＴ化に向けた取組みを検討する。 ・引き続き、町内会にアドバイザーを派遣するとともに、庁内プロジェクトチームにおいて、町内会加入率低下対策を検討する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	市民協働国際課
施策	② 市民協働の推進		
改革手段	1 協働の仕組づくり		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	13

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				令和元	2	3	4			
1	重点3	とよかわ市民協働推進計画の推進	とよかわ市民協働推進計画を推進し、協働のまちづくりに取組む。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・地域全体でのまちづくりの推進	市民協働国際課	
				とよかわ市民協働推進計画に基づく実施施策の展開					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き、「とよかわ市民協働推進計画」の推進を図る。				
取組内容	【取組中】 ・市民活動団体等の提案型事業である、市民協働推進事業に補助を行った。 ・とよかわボランティア・市民活動センターだよりを年4回発行した。 ・企業などが発行する情報紙へ市民活動情報を掲載した。 ・市民や職員を対象とする協働研修を実施し、協働意識の醸成を図った。 ・各課に市民協働推進員を配置し、協働事業の施策に向け全庁的に連携の強化を図った。				
取組による効果	・市民活動団体や地縁組織の7団体が、他団体や企業などと一緒に補助金を活用して協働によるまちづくり活動を行うことができた。 ・情報紙に延べ6件の市民活動情報を掲載することで、市民活動団体が実施するイベントへの参加者を増やすことができた。 ・市民活動団体や企業等を対象に市民向け協働研修（出前講座）を7回開催し、延べ84名に市民協働の意識啓発の強化を図ることができた。 ・各課に市民協働推進員を設置して研修を実施（46名参加）するなど、全庁的に市民協働を推進することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・とよかわ市民協働推進計画に基づく各種取り組みを推進したため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・推進計画に基づき実施した事業について、取り組みの成果や課題、進捗状況を評価し、より効率的かつ効果的な施策及び事業の展開を図る必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き、「とよかわ市民協働推進計画」の推進を図る。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	人事課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	1 企業などとの連携		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	15

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
3	重点4	企業など他団体との人事交流	市と企業で相互に職員を派遣・受入を行う。	>>>>>>>>>>>>>>>				・他団体との連携の強化 ・民間の知識の習得	人事課	
				民間への派遣研修の実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・令和2年度は、引続き豊川青年会議所及び豊川商工会議所青年部へ各1名を派遣し、民間派遣研修として「早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント部会」へ参加させる。また、豊川市社会福祉協議会からの職員を継続して受入れる。				
取組内容	【取組中】 ・豊川青年会議所及び豊川商工会議所青年部へ各1名を派遣した。 ・「早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント部会」へ3名を派遣した。 ・豊川市社会福祉協議会から職員1名を受入れた。				
取組による効果	・公務職場では学ぶことのできない民間企業の手法等を学び、異業種交流を通じ、職員自らの気づきによる行政視野の拡大と意識改革の促進を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・公務職場では学ぶことのできない民間企業の手法等を学び、異業種交流を通じ、職員自らの気づきによる行政視野の拡大と意識改革の促進を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点					
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・豊川青年会議所への派遣については、時間外や週休日等の参加となるため、受講者本人、所属や家族の理解が必要である。 ・これらの研修により得られたものを本市の業務に還元することが重要である。
今後の具体的な取組予定	・令和3年度は、引続き豊川青年会議所及び豊川商工会議所青年部へ各1名を派遣する。また、豊川市社会福祉協議会からの職員を継続して受入れる。「早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント部会」は、研修体系の見直しにより、令和3年度の参加は行わない。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	企画政策課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	2 大学などとの連携		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	16

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他	
				令和元	2	3	4		関係組織		
1	重点5	大学連携の推進	大学の知識や人材を活用し、質の高い行政運営を図る。	>>>>>>>>>>>>>>					- 専門的な知識の活用 - 効果的な事業の実施	企画政策課	
				連携事業の実施							

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・同様の取組みを継続するとともに、希望調査並びに他事業との連携した新たな活用手法に係る検討及び大学連携の活用促進に取り組む。				
取組内容	【取組中】 ・平成24年3月に締結した愛知大学との協定を継続し、各教授に各種計画策定等に委員として参画していただいたほか、名古屋大学受託研究員として防災に関する職員を派遣した。 ・町内会アドバイザー派遣事業において、専門家と協力し、町内会運営の見直しを行った。				
取組による効果	・各大学の専門的な知識の活用や人材の協力を得ることにより、事業の深化の推進及び効果的な事業の実施につながった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・愛知大学などと16事業で連携を図ることができ、また、新たな連携事業の開始について進めることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 大学連携協定活用の継続した庁内周知により、個別施策の取組みをより効果的にしていくことが求められる。
今後の具体的な取組予定	・ 同様の取組を継続するとともに、希望調査並びに他事業との連携した新たな活用手法に係る検討及び大学連携の活用の促進に取り組む。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	企画政策課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	3 広域行政の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	17

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2	重点6	他自治体との連携の推進	各分野で他自治体との連携を推進する。	>>>>>>>>>>>>>>				・業務対応力の強化	企画政策課	
				各分野で連携の実施					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き他自治体等との連携を推進する。				
取組内容	【取組中】 ・「東三河広域連合」における共同事務処理の実施や「東三河広報広聴担当者研修」を始めとした各種分野で引き続き他自治体等との連携を推進した。				
取組による効果	・各分野で連携することにより、業務の効率化を図るとともに、業務の対応力が強化された。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・276件の連携体制が継続されており、業務対応力を強化することができているため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・連携体制が構築されている業務について、連携体制を継続することが必要である。
今後の具体的な取組予定	・引き続き他自治体等との連携を推進する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	2 情報・共有				主管課	企画政策課				
施策	① 地域情報化の推進									
改革手段	1 地域情報化の推進									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	18				
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2	重点7	国・県の情報発信ツールの活用	地方創生に関係する国・県の情報発信ツールを活用する。					・効果的な情報発信 ・定住・交流の促進	企画政策課	
				穂つとネット東三河*等への情報掲載						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き国等のプラットフォームを活用することで、広く本市取組の情報発信を行う。				
取組内容	【取組中】 ・あいちUIJターン支援センター（愛知県）を活用し、UIJターン希望者向けの情報発信を継続実施した。 ・本市の地方創生に関する取組みである地域再生計画について、内閣府から引き続き認定を受けた。				
取組による効果	・UIJターン支援センターを通じて、インターネット及び東京圏で豊川市の魅力発信を行うことができた。 ・本市の特色ある取組みを掲載した地域再生計画が内閣府ホームページに掲載されることにより、広域的な周知につながった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・国や県の情報発信ツールを活用した情報発信を引き続き行うことができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・本市の特色や独自の取組みについて、情報発信を継続して行う必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き国等のプラットフォームを活用することで、広く本市取組の情報発信を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課	秘書課
施策	② 広報機能の強化		
改革手段	1 広報機能の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	19

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
3	重点8	広報に関する意識改革、協働化・民間活用	職員を対象とした広報の意識改革を図る研修等や、民間アドバイザー等を活用した広報活動を行う。	>>>>>>>>>>>>>>				・広報力の強化	秘書課	
				・研修会の開催 ・専門的な知識や経験を持つアドバイザーからのアドバイスを活用した広報活動						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・研修会などを定期的に開催し、職員の広報意識の向上に努める。 ・民間アドバイザー等を活用し、情報発信技術の向上を図るとともに、市ホームページ等の積極的な活用を呼びかける。				
取組内容	【取組中】 ・広報意識改革研修会は、講師を依頼し開催に向け調整を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかった。 ・ホームページ操作研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響で集合研修の開催ができなかったため、今後オンライン研修でも対応できるよう研修素材を作成した。 ・広報「とよかわ」の発行にあたり、印刷物制作等を行う株式会社モストプランナーズ代表・牧野一氏を広報アドバイザーに委嘱し、紙面構成やデザインの向上を図った。 ・地域情報誌「豊川はなまる」を発行するプライズメント、待合場所にデジタルサイネージを設置する豊橋商工信用組合と協働し、市政情報の発信を行った。（毎月1回発行）				
取組による効果	・広報「とよかわ」の発行にあたっては、専門分野で活躍する講師の実践的なアドバイスにより、デザイン、表現方法等において、効果的な情報発信のスキルの向上を図ることができた。 ・令和2年度愛知県広報コンクールにおいて、広報「とよかわ」8月号が入選を受賞することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・新型コロナウイルス感染症の影響により、広報意識改革研修会、ホームページ操作研修会を開催できなかった。しかし、広報「とよかわ」においては、民間アドバイザーのアドバイスを受けて、令和2年度愛知県広報コンクールで入賞の評価を受けることができ、また、豊橋商工信用組合との協働広報を追加できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・研修等で得た知識や技術を日々の広報業務に反映できるように、職員一人ひとりの広報意識を高めていく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、研修会などを定期的に開催し、職員の広報意識の向上に努める。 ・ホームページ操作研修は、オンラインでも対応できるよう整備したため、職員に周知を図り、活用を促す。 ・民間アドバイザーを活用し、紙面構成やデザインをさらに向上させ、市民にわかりやすい広報を目指す。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	2	情報・共有	主管課	企画政策課						
施策	③	説明責任と透明性の拡充								
改革手段	1	分かる化の推進								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	20						
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
4	重点9	事業の庁内における評価の実施	庁内における評価を実施し、施策の形成力の向上を図る。	>>>>>>>>>>>>>>				・分かりやすさの向上 ・説明力の向上	企画政策課 関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・横の連携を生み出すことによる効果的な取組みを進め、ノウハウの確立を図るため、引き続きワーキングの実施に取り組む。				
取組内容	【取組中】 ・政策間の連携を図ることを目的としたワーキングを実施し、令和2年度は公金等収納キャッシュレス化について複数課の職員が意見交換を行った。				
取組による効果	・庁内複数課の視点も広く取り入れることで、行政の施策としてどのような取組みが望ましいかの検討を行うことができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・行政DXの流れ、市民ニーズ、職員の負担軽減等を踏まえつつ、業者選定に関する法的な検討なども行うことで、QRコード決済（MPM方式）での公金等収納実証実験を行う必要があるとの結論に達することができた。また、実証実験の対象、時期、事業者等につき具体的に決定することができ、キャッシュレス化への進捗を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・評価に加え、現在実施している政策の改良あるいは新たな提案を実施する等、新たな施策の実施に向けた手法のひとつとして確立させる取組みが必要である。
今後の具体的な取組予定	・事業における庁内評価を定着させるために、引き続きワーキング等の実施に取り組む。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	2	情報・共有	主管課	財政課
施策	③	説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2	見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	21

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2	重点10	予算編成過程の公開	予算編成の過程として各部課の要求状況や新規・重点事業の内容を公表する。	>>>>>>>>>>>>>>				・予算編成過程の透明性向上	財政課 関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・予算編成の過程として、各部課等の要求状況や新規・重点事業の内容を公表する。				
取組内容	【取組中】 ・令和3年度予算編成において、提出された予算要求書に基づき、一般会計当初予算要求状況として、予算編成方針、当初予算要求額及び重点事業要求状況（各部署10事業）を令和2年11月28日にホームページに掲載、公表を実施した。 ・予算案と調整理由区分を付した重点事業一覧表を令和3年2月26日にホームページに掲載、公表を実施した。				
取組による効果	・予算編成の過程として各部課の要求状況や新規・重点事業の内容を公表することで、予算編成過程の透明性の向上が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・計画どおり公表を実施できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ より分かりやすく、見やすい公開資料の検討が必要である。
今後の具体的な取組予定	・ 予算編成の過程について、より明確で分かりやすい公開資料にできるよう、さらなる検討を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		3 財政・資産						主管課	企画政策課		
施策		① 歳出の最適化									
改革手段		2 事務事業の見直し									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組								該当ページ	24		
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他	
				令和元	2	3	4		関係組織		
1	重点11	民間との連携活用	直営で実施している事務事業等について連携した取組みを実施する。	>>>>>>>>>>>>>>>					- 経費の削減 - 市民サービスの向上	企画政策課	
				民間と連携できる事業の検討					関係各課		

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き政策間連携ワーキング等において、官民連携の促進が図られるよう調整を行う。				
取組内容	【取組中】 ・政策間の連携を図ることを目的として、市内関係団体と外部等の視点を取り入れ、事業間の連携等をテーマとして関係各課と民間有識者で構成されるワーキングを行った。				
取組による効果	・公金等収納キャッシュレス化について複数の民間企業等の担当者を招聘し、決済手段等を幅広く意見交換することで、今後の取組みについての参考とすることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・民間との連携により、効果的に取組むことができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ワーキングの実施はもとより、政策間同士の連携及び民間の活用を実践し、さらに取組みを深化させる事により、官民連携の効果的な実施に向けた取組みが必要である。
今後の具体的な取組予定	・引き続き政策間連携ワーキング等において、官民連携の促進が図られるよう調整を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	3	財政・資産	主管課	企画政策課
施策	②	歳入の確保の強化		
改革手段	3	税収などの確保策の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	28

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
5	重点12	とよかわ応援寄附金の確保	各種施策を講じることで、ふるさと納税制度による本市への寄附金の増額を目指す。	>>>>>>>>>>>>>>>				・自主財源の確保 ・定住・交流効果の促進	企画政策課	
				取組実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・環境課主体によりGCF#4（地域猫プロジェクト）を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・ガバメントクラウドファンディング（GCF）により、地域猫プロジェクトを実施した。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大に基づく活動自粛に対する経済対策として返礼品を購入型に切り替えてふるさと納税を募集した。				
取組による効果	・地域猫プロジェクトについては、264件、5,047,492円の支援があった。 ・ふるさと納税については、1,626件、52,396,255円の寄附があった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	地域猫プロジェクトについては、支援額が目標額の100万円に達している。またふるさと納税については、購入型に切り替え後一年未満であるが、専用サイトからの申し込みも継続しており、定着しつつあると考えられるため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 返礼品を取り扱う市内事業者の拡大が必要である。
今後の具体的な取組予定	・ 引き続き積極的に返礼品を取り扱う事業者を募集し、寄附金の増額を目指す。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	3 財政・資産						主管課	財政課			
施策	③ 財政健全化の推進										
改革手段	2 経営基盤の強化										
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組							該当ページ	30			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他	
				令和元	2	3	4		関係組織		
3	重点13	債務の削減	毎年の市債借入額は、元金償還額を上限とするとともに、高利債を中心に繰上償還を実施する。	>>>>>>>>>>>>>>>					・将来負担の軽減 ・財政の健全化	財政課	
				金融機関との協議、繰上償還の随時実施							

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・毎年の市債借入額は元金償還額を上限とするとともに、高利債を中心に繰上償還を実施する。																
取組内容	【取組中】 ・市債借入額を元金償還額以内とすることができ、市債による将来負担の軽減につなげた。																
取組による効果	・財政の健全化及び償還利子削減による将来負担の軽減につなげる。 <table><thead><tr><th></th><th>借入額</th><th>元金償還額</th><th>削減額</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和元年度</td><td>31億7,240万円</td><td>49億 258万円</td><td>17億3,018万円</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>36億9,765万円</td><td>49億7,126万円</td><td>12億7,361万円</td></tr></tbody></table>						借入額	元金償還額	削減額	令和元年度	31億7,240万円	49億 258万円	17億3,018万円	令和2年度	36億9,765万円	49億7,126万円	12億7,361万円
	借入額	元金償還額	削減額														
令和元年度	31億7,240万円	49億 258万円	17億3,018万円														
令和2年度	36億9,765万円	49億7,126万円	12億7,361万円														
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—													
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	3点	目標を超える効果達成												
取組に対する自己評価	・他の財源を有効活用し、必要な事業を縮小することなく、市債借入額を元金償還額以内とすることができたため、目標を超える効果達成度とした。 ■市債残高の推移 令和元年度末 412億4,907万円 令和2年度末 399億7,546万円																

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・現在の金利状況から繰上償還の実施が難しくなっているため、借入条件の変更など、新たな取組みを行っていく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財産管理課
施策	④ 公有財産の最適化		
改革手段	2 施設の見直し及び処分		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	33

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1	重点14	施設の見直し及び処分	豊川市公共施設適正配置計画*などに基づき既存施設の見直しや処分を実施する。	>>>>>>>>>>>>>>				経費の削減	財産管理課	
					施設の有効活用や統廃合等の検討・実施				関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・小坂井地域交流会館（仮称）実施設計に基づき、引き続き建設工事に取組む。 ・公共施設等総合管理計画の施設類型ごとの基本方針に基づき、個別計画の未策定の施設所管課には、引き続き策定要請を行うとともに、支援を行う。 ・小坂井エリアに続く、新たに取組むモデルエリアを選定し、再編施設検討事業を行う。				
取組内容	【取組中】 ・小坂井地域交流会館（仮称）建設工事に関する事業の周知を行った。 ・公共施設等総合管理計画の施設類型ごとの基本方針に基づき施設所管課との協議を通じて個別計画の策定を行った。 ・新たに取組むモデルエリアとして一宮エリアを選定し、再編施設検討事業を行った。				
取組による効果	・広報等により建設工事の周知を行い、小坂井地域交流会館（仮称）に対する地域住民の理解等が深まった。 ・施設所管課で保有総量縮減や施設の長寿命化等を踏まえた計画の策定が完了した。 ・新たなモデルエリアを一宮エリアに選定し、そのエリアでの再編施設検討事業の選定をし、基本構想の策定に向けて準備を行うことができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・広報等により建設工事の周知を行うことで小坂井地域交流会館（仮称）に対する地域住民の一定の理解を得ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。 ・施設所管課で保有総量縮減や施設の長寿命化等を踏まえた計画の策定が完了したため、目標どおりの効果達成度とした。 ・新たなモデルエリアを一宮エリアに選定できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・豊川市公共施設適正配置計画に示す基本方針に基づき、施設所管課にて既存施設の統廃合等の方針を決定する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・小坂井地域交流会館（仮称）実施設計に基づき、引続き建設工事に取り組む。 ・個別施設計画の策定内容をもとに、公共施設等総合管理計画の見直しを行う。 ・一宮エリアにおいて、再編施設検討事業を引き続き行うと共に、基本構想の策定を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		3 財政・資産				主管課	財産管理課
施策		④ 公有財産の最適化					
改革手段		3 保有財産などの利活用の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	34

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1	重点15	市有地や市施設の空きスペースの有効活用と処分	将来的に利用見込みのない市有地の売却を進めるとともに、施設の空きスペースを民間などへ貸付ける。					・自主財源の確保【67,071 千円増】	財産管理課	
			・未利用地の掘り起こし、売却 ・土地売却手法の確立 ・空きスペースの貸付							

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・施設の空きスペースについては、基本方針の策定も含め、今後もファシリティマネジメントの取り組みの中で情報収集を行い、効果的な利活用の検討につなげていく。				
取組内容	【取組中】 ・用途廃止により普通財産となった土地に関しては、従前の土地所管課により隣接土地所有者への売却の打診を行うことを原則としている。 ・土地売却及び基本方針の策定に資するため、保有財産の再確認等の作業に着手した。				
取組による効果	・過年度に売却を打診した土地について、一部令和２年度に売却することが出来た。また、未活用用地を貸すことにより収入を得た。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	67,071		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	56,834	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・収入増加額の実績が、収入増加額の予定を下回ったが、売却予定だった物件の売却が概ね出来たため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・売却土地に関する情報発信ツール(ホームページ及び現地設置案内看板)手法。土地の貸付は、幅広い用途を視野に入れた検討が必要と考えられる。
今後の具体的な取組予定	・施設の空きスペースについては、基本方針の策定も含め、今後もファシリティマネジメントの取り組みの中で情報収集を行い、効果的な利活用の検討につなげていく。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	4 組織・仕組						主管課	企画政策課
施策	① トップマネジメントの確立							
改革手段	1 トップマネジメントの確立							
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組							該当ページ	36

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1	重点16	企画調整会議の推進	市内部における企画調整会議の活用を図る。	>>>>>>>>>>>>>>				・行政の円滑運営	企画政策課	
				企画調整会議の積極的な活用						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も現在の取組を継続するとともに、効果的な方法について検討を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・令和2年度は、企画調整会議を5回、企画調整審査会を1回開催した。 ・企画調整会議（第6次総合計画改訂について） ・企画調整審査会（地籍調査の活用を通じた土地対策に関する実施体制の検討）				
取組による効果	・市政の重要案件をレベル感に応じて関係各部・課で情報共有することにより、行政の円滑な運営に寄与した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・企画調整会議及び企画調整審査会を開催することで、各部・課で情報共有ができ、市の重要な施策について、強力なリーダーシップが発揮でき、トップマネジメントの強化を図ることができたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・企画調整会議及び企画調整審査会の運営方法について、課題の内容等に応じてより効果的なマネジメントの強化や情報共有が図られるよう弾力的な運用を実施する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組を継続するとともに、効果的な方法について検討を実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	4 組織・仕組	主管課	人事課
施策	② 柔軟な組織・権限の見直し		
改革手段	1 組織の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	37

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2	重点17	組織と定員の適正化	組織と人員配置（定員管理）のあり方を検討して実施体制の最適化を図る。	>>>>>>>>>>>>>>				・実施体制の最適化 ・実施体制の強化	人事課	
				組織と人員配置のあり方を随時検討					行政課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き、管理職との人事異動ヒアリングにおいて、詳細に行政ニーズや必要人数を聞き取り、組織体制の強化につなげる。 ・組織と定員の適正化を図るために、組織を所管する行政課と連携する。				
取組内容	【取組中】 ・現状の行政ニーズに対応するべく、管理職との人事異動ヒアリングを行った。 ・行政課が行う組織改正のヒアリングに人事課も同席し、情報共有を行った。				
取組による効果	・組織体制の需要の明確化と、体制強化を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ヒアリングにより組織体制の需要を明確化し、限られた人的資源の中、概ね要望にあった人事異動を行うことができ、組織体制の強化を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・限られた人的資源のなか、効果的に行政ニーズに応えられる組織体制を整えなければならない。
今後の具体的な取組予定	・引き続き、管理職との人事異動ヒアリングにおいて、詳細に行政ニーズや必要人数を聞取り、組織体制の強化につなげる。 ・組織と定員の適正化を図るために、組織を所管する行政課と連携する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	4 組織・仕組				主管課	企画政策課
施策	③ マネジメントサイクルの確立					
改革手段	1 事業実施決定方法の見直し					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	39

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1	重点18	総合計画実施計画策定方法の充実	総合計画実施計画策定において、事前評価の結果をより有効に活用できる手法を検討し、充実させる。					・より実効性の高い事業展開	企画政策課 関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き事前評価の内容をもとに関係各課でワーキング等を行い、より質の高い事業の実施を目指す。				
取組内容	【取組中】 ・政策間の連携を図ることを目的としたワーキングを実施し、令和2年度は、公金等収納キャッシュレス化について複数課の職員が意見交換を行った。				
取組による効果	・ワーキングの実施により、事業の実施に具体性を持たせるとともに、連携により効果的な事業展開が期待できる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・総合計画実施計画策定において、各課で連携を意識した事業展開の意識づけができた。令和2年度に実施した実施計画の策定において30の連携を生み出すことができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・引き続き事前評価による事業の磨き上げを具体的な施策に結びつけるよう、手法を充実する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き事前評価の内容をもとに関係各課でワーキング等を行い、より質の高い事業の実施を目指す

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		4 組織・仕組				主管課	財政課			
施策		③ マネジメントサイクルの確立								
改革手段		2 評価手法の充実								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	40			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
3	重点19	施策の成果 の見直し	主要施策の成果 報告書に成果指 標や事後評価等 を加える見直しを 行う。	>>>>>>>>>>>>>>				・評価過程の明確化	財政課	
				事後評価等を加えた資料作成					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・主要施策の成果報告書に成果指標や事後評価等を加える見直しを行う。				
取組内容	【取組中】 ・令和元年度決算にかかる主要施策の成果報告書において、自己評価結果を掲載した。				
取組による効果	・決算にかかる主要施策の成果報告書の見直しにより、評価過程の明確化が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・令和元年度決算にかかる主要施策の成果報告書において、自己評価結果の掲載について、より成果がわかるような表現に改めるなど改善を図った。また、当初予算重点事業の公表資料との整合を意識した作成にも努めることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 報告書の作成スケジュール及び掲載内容のさらなる検討が必要である。
今後の具体的 な取組予定	・ 総合計画実施計画事業又は各部当初予算重点事業について、より明確で分かりやすい事後評価等ができるよう、さらなる検討を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	1 人材育成の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	42

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他	
				令和元	2	3	4		関係組織		
1	重点20	職員研修の充実化	人材育成基本方針に沿って、今後、職員研修を充実する。	>>>>>>>>>>>>>>>					・時世に合った、必要性の高い学習の提供	人事課	
				人材育成基本方針に沿った職員研修の実施							

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・「豊川市人財育成基本方針」に基づき、充実した職員研修を実施する。 ・女性職員の登用と職域の拡大を図るための研修を継続して実施する。				
取組内容	【取組中】 ・「豊川市人財育成基本方針」に基づき、職員研修の充実化を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの研修において、中止や開催方法の見直しを行った。 ・女性職員の登用と職域の拡大を図るため、複数の女性職員を対象とし、外部研修を実施した。				
取組による効果	・新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの研修で中止や開催方法の見直しがあったが、実施できた研修については、行政ニーズに対応する職員の資質向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	1点	目標に至らない効果達成
取組に対する自己評価	・新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの研修で中止や開催方法の見直しがあり、効果が限定的であったため、目標に至らない効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・「豊川市人財育成基本方針」を周知し、これに基づき効果的な研修を実施する必要がある。 ・新型コロナウイルス感染防止対策をしっかりと行ったうえで、研修を実施する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで、「豊川市人財育成基本方針」に基づき、充実した職員研修を実施する。 ・女性職員の登用と職域の拡大を図るための研修を継続して実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		5 人材・品質				主管課	人事課			
施策		① 少数精鋭の推進								
改革手段		2 定員適正化の推進								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	44			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1	重点21	定員の適正化の推進	第5次定員適正化計画に基づく定員の適正化を推進する。	>>>>>>>>>>>>>>>				・人件費の削減	人事課	
				少数精鋭体制の推進						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・第6次豊川市定員適正化計画を策定し、引き続き定員の適正化に努めるとともに、人材育成施策（研修等）の実施により、職員の能力向上に努める。				
取組内容	【取組中】 ・第5次定員適正化計画を指標としつつ、行政需要の増加を勘案し、定員の適正化に努めた。（対計画値：+16人。対前年比で+10人） ・第6次定員適正化計画（計画期間：令和3年度～令和7年度）を策定した。 ・人材育成施策（研修等）の実施により、職員の能力向上に努めた。				
取組による効果	・限られた人的資源の中で、人材育成施策により、職員の能力向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・令和2年4月1日付の職員数は1,141人であり、第5次定員適正化計画上の職員数1,125人を16人上回ったが、保育サービスの充実等の行政需要の増加を勘案し、妥当な職員数であると考えます。また、フルタイム再任用職員と育児休業代替任期付職員も活用し、職員数の適正化を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・行政需要を適切に把握するとともに、第6次豊川市定員適正化計画に基づき、適切な行政運営を推進していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・第6次定員適正化計画に基づき、引き続き定員の適正化に努めるとともに、人材育成施策（研修等）の実施により、職員の能力向上に努める。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	市民課
施策	② 窓口サービスの向上		
改革手段	1 より身近で便利で快適な窓口サービスの実現		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	46

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1	重点22	お客様を迷わせない取組の実施	番号発券機の導入を行い、窓口の状況に応じて発券機等への案内を行う。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・窓口サービスの向上	市民課	
				・番号発券機の運用 ・発券機等への案内実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・1番窓口の証明発行受付、会計窓口において、混雑時にお客様の待つ方法や待ち時間などを提示できるように工夫をする。 ・待合フロアでのフロアマネージャーによる案内を的確に行うため、簡易な案内方法を確立したり、分かりやすい案内掲示板等の工夫をする。				
取組内容	【取組中】 ・お客様がどこに並んだらよいか分かりやすくするため、1番窓口の証明発行受付前のベルトパーテーションに、「証明発行受付入口」や「会計・交付」を表示した。 ・お客様の目線や導線を考え、申請書の記載台に記入後の案内表示をしたり、印鑑登録窓口で窓口不在の場合の案内表示をすることで、フロアマネージャーが、その他の案内をできるようにした。				
取組による効果	・1番窓口の「証明発行受付」、「会計窓口」の案内表示をしたことにより、職員が振り分ける必要がなくなり、職員は証明発行事務に専念することができ、待ち時間を短縮することができた。 ・案内表示により、フロアマネージャーが、他のお客様の案内をすることができたことで、全体の待ち時間を短縮することができ、またお客様の不安、不満な気持ちを解消することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・お客様の導線に沿った案内表示を設置したことにより、お客様を案内することがなく手続きをすることができ、混雑時においてもスムーズな対応ができた。 ・お客様の待ち時間や職員の業務遂行時間を短縮したことのみならず、お客様への不安、不満な気持ちを解消することが出来た。 以上のことから、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・1番窓口の証明発行受付、会計窓口において、待ち時間がどれくらいか尋ねられるなど、お客様からの不安、不満に対応する必要がある。 ・新たな案内表示を設置することができたが、様々な案内表示が多く設置されているため、必要な案内表示を精査する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・1番窓口において、混雑する窓口を解消する案内方法を検討する。 ・混雑時にフロアマネージャーが出ることができない場合に対応した目的別の発券機や呼出し後の不在に対するモニターなどの案内機器を導入し、さらにスムーズな窓口対応ができるように取り組む。 ・混雑するマイナナンバー（4番）窓口において、待ち時間の表示、予約システム導入、フロアマネージャーと窓口職員の聞き取りの連携方法などを検討し、お客様の待ち時間の短縮や不安、不満を解消できるように継続して取り組む。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	5 人材・品質				主管課	情報システム課
施策	③ 行政情報化の推進					
改革手段	1 行政サービスの高度化					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	48

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1	重点23	GIS*の活用 (工事箇所情報、災害時の情報等の提供)	GISにより工事箇所情報や災害時の情報等を提供する。					- 情報公開の迅速化 - 公開情報の確実性確保	情報システム課 関係各課	
			工事箇所、災害時の情報等の提供	- 次期システムの運用 - 工事箇所、災害時の情報等の提供						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・システムの課題等を整理し、利便性向上に向けて検討見直しを行う。また、安定的に稼働するよう適切なシステム運用管理を行う。				
取組内容	【取組中】 ・システムリプレイスに伴い、令和2年4月から「豊川市GIS」を再構築、運用開始した。また、定期的に機能拡張やバージョンアップを実施した。 ・GISに関する知識及び技術のレベルアップを図るため、職員研修を6回開催した。また、開発事業者のSEに直接相談できる個別相談会を1回実施した。				
取組による効果	・新しいGISについて大きなトラブルなく運用できた。 ・地理情報をベースにした本市データの公開の推進に寄与できた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・システムリプレイスを大きなトラブルなく行うことができたこと、定期的なバージョンアップ等や操作研修を実施できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・GISの安定運用を継続する必要がある。 ・新たな分野（データ）のGIS活用の推進を図る必要がある。
今後の具体的な取組予定	・新たな分野（データ）のGIS活用を推進するため、統合型GIS運用推進部会での勧奨のほか、他団体の運用状況を調査し、部会で情報共有する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		5 人材・品質				主管課	行政課			
施策		④ 業務改善の推進								
改革手段		1 業務改善の意識高揚と改善の推進								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	50			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1	重点24	業務改善運動の推進	あらゆる手法を活用してアイデアを引き出し、業務改善運動を推進する。	>>>>>>>>>>>>>>>				・職員の業務改善意識の向上 ・業務の効率化	行政課	
				カイゼン運動の実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続きT-1グランプリを実施し、働き方改革を意識した仕事カイゼンを考えてもらうために業務改善に対する周知・啓発を図る。令和3年度以降については、T-1グランプリに代わり、内部統制の推進を図る中で業務改善に対する周知・啓発を図る。				
取組内容	【取組中】 ・カイゼン運動として、T-1グランプリを実施した。 ・仕事カイゼンに関する啓発・支援を強化するため、カイゼン週間を設定し、他市等の取組み事例について紹介し業務改善への意識の高揚を図った。 ・優秀仕事カイゼンを選出し、表彰を行った。				
取組による効果	・T-1グランプリの取組み件数が173件（前年度の174件）であり、うち「働き方改革」に関する取組みは13件、動画配信やWeb会議など新型コロナウイルス感染症対策関連の取組みは50件であった。 ・カイゼン週間などにより、仕事カイゼンの推進及び業務改善意識の向上を図ることができたと考えられる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・カイゼン週間などの取組みの結果、T-1グランプリの取組み件数について、前年度に近い件数であった。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、保育園での手遊び動画配信やWeb会議など「新たな生活様式」に対応する業務改善も実施され、業務改善意識の向上や業務の効率化を図ることができたと考えられるので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・仕事カイゼンの意識は定着し、着実に取組みを実施してきているが、T-1グランプリを実施し8年が経過しており、意識の停滞を防止するためT-1グランプリのあり方を考える必要がある。 ・負担が少なく、取り組みやすい仕事カイゼンについて検討する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続きT-1グランプリを実施し、働き方改革を意識した仕事カイゼンを考えてもらうために業務改善に対する周知・啓発を図る。 ・T-1グランプリの目的、主旨を継承しつつ、業務改善意識の向上や周知・啓発を行う新たな仕組みを検討する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	5 人材・品質				主管課	人事課				
施策	④ 業務改善の推進									
改革手段	2 職場環境の向上									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	51				
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1	重点25	職員の働きやすい職場環境の構築	ワーク・ライフ・バランスの推進できる職場環境を構築する。	</						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ワーク・ライフ・バランスを推進するためのより効果的な施策について検討し、実施する。 ・平成28年3月に策定された特定事業主行動計画（平成27年度～平成32年度）に基づいた取組を行う。 ・次期特定事業主行動計画を策定する。				
取組内容	【取組中】 ・特定事業主行動計画に基づく措置の実施状況の公表、「職員のための子育て応援マニュアル」の周知などにより、ワーク・ライフ・バランスの意識啓発を行った。 ・時間外勤務が多い職場に対して、改善を図るよう意識付けを実施した。 ・次期特定事業主行動計画については、令和3年4月に策定することとした。				
取組による効果	・ワーク・ライフ・バランスに対する意識の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ワーク・ライフ・バランスの推進のために効率的に施策を実施し、職員の意識を向上することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・所属の職員全員が、意識し協力し合える環境とするため、豊川市職員全体が意識改革を進める必要がある。
今後の具体的 な取組予定	・ワーク・ライフ・バランスを推進するためのより効果的な施策について検討し、実施する。 ・特定事業主行動計画に基づいた取組みを行うとともに、次期特定事業主行動計画を策定する。

3 重点取組以外の評価結果

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	人事課
施策	① 市民参画の推進		
改革手段	1 市民参画意識の醸成		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	11

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				令和元	2	3	4			
2		職員研修の実施	市民参画を図る職員研修を実施する。					・市民参画に対する職員の意欲向上	人事課 市民協働国際課	
				NPO法人見学等を職員研修で実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き、市内のNPOを知るための「市内NPO見学ツアー」を一般職員中期研修へ組み込んで実施する。				
取組内容	【取組中】 ・一般職員中期研修において、民間非営利法人（NPO）について、目的・特性・意義などの説明を行うとともに、市内NPO法人3団体による講演を実施し、活動内容を学び市民参画に対する意識の醸成を図った。NPO見学ツアーについては、新型コロナウイルス感染症防止のため、実施しなかった。				
取組による効果	・NPOに関する理解が深まり、職員の市民参画意義の醸成が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・25名の職員が参加し、NPOの役割や市民協働の意義を学ぶことができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・市内NPOが、福祉系に偏っているため、市民協働国際課と協議をして実施方法の見直しを検討する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き、一般職員中期研修で市内のNPOを知るための研修を実施する。

具体的取組評価結果票 (令和2年度分)

将来像	1 市民・協働				主管課	都市計画課 公園緑地課				
施策	① 市民参画の推進									
改革手段	2 市民参画機会の増加									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	12				
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		ワークショップの活用	密集市街地整備事業、新規公園の計画段階において、地元関係団体とワークショップを実施する。					・まちづくりへの市民参加の増加	都市計画課 公園緑地課	
				ワークショップの実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ 今後は、牛久保地区において、主にハード整備を進める予定であり、牛久保地区の整備が具体化された後、次地区に取組む予定である。				
取組内容	【取組開始】 ・ 牛久保地区において主にハード整備を進めている。ワークショップは、次地区において取組む予定である。 ・ 豊川西部土地区画整理地内の街区公園（5号公園）を整備するにあたり、地元市民をメンバーとしたワークショップを計3回開催し、地元の意見を反映させた実施設計を行った。				
取組による効果	・ ワークショップの開催により、地元市民の意見を反映させた公園整備計画を作成することができた。 ・ 実際に公園を利用する地元市民の方々に計画段階から参加してもらうことで、「わたしたちの公園」として身近に感じていただけたと、地元による公園の適正な維持管理に繋げることができたと考えられる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ ワークショップ開催の結果、地元市民の意見を反映させた公園整備計画を作成することができ、その結果、公園をより身近に感じていただけたと思われるため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・ 今後は、次地区において、より多くの市民が参加できるよう整備手法を検討する必要がある。 ・ 公園利用者は子供から高齢者まで幅広い年齢層に渡るため、メンバーの選定にあたっては、地域性・トレンド等を十分に考慮する必要がある。 ・ ワークショップ参加者に限りがあるため、要望や意見が偏ってしまう場合がある。計画を作成する際は、維持管理面等、将来を見据えた上で意見を採用する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ 今後は、牛久保地区において、主にハード整備を進める予定であり、牛久保地区の整備が具体化された後、次地区に取組む予定である。 ・ 新規公園を整備するにあたり、実際に公園を利用する地元市民の方々に計画段階から参加していただき、「わたしたちの公園」として身近に感じていただくことで、将来の適正な維持管理に繋げる。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	1 市民・協働				主管課	企画政策課
施策	① 市民参画の推進					
改革手段	2 市民参画機会の増加					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	12

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
3		審議会等に関するガイドラインの運用	審議会などの委員選任について定めたガイドラインの運用を行う。	>>>>>>>>>>>>>>>			・審議会等の活性化 ・まちづくりへの意欲の醸成	企画政策課		
				審議会等に随時適用						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ガイドラインの適切な運用を周知徹底するとともに、各審議会の委員募集の際には、公募委員を選任していく。				
取組内容	【取組中】 ・ガイドラインの適用状況について調査を実施するとともに周知を行い、職員の理解を深める取組みを実施した。 ・豊川市審議会等見える化ガイドラインに基づき、市民公募による審議会委員の登用を引き続き行った。				
取組による効果	・市民公募による審議委員を登用することにより、審議会等の活性化が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ガイドラインに基づき各課への働きかけを実施するとともに、新規設置の審議会で委員の公募を行い、市民のまちづくりへの参画機会を高めることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・審議会の委員募集の際に引き続き公募委員を選任できるよう、ガイドラインの内容について、職員への理解度を深める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ガイドラインの適切な運用を周知徹底するとともに、各審議会の委員募集の際には、公募委員を選任していく。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	学校教育課
施策	① 市民参画の推進		
改革手段	2 市民参画機会の増加		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	12

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				令和元	2	3	4			
4		親子等で参加できる活動の企画・実施	親子や家族の参加できる行政の活動を企画・実施する。	>>>>>>>>>>>>>>>				・地域や家庭と連携した教育活動の展開	学校教育課	
				「学校の日」を始め各種講座の企画・実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各校の特色を生かした教育活動を保護者や地域に公開していく（年間2回以上）。 ・学校だよりやホームページで、期日や活動内容を家庭や地域に案内していく。				
取組内容	【取組中】 ・令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、「学校の日」は2回とも中止とした。ただ、感染状況が落ち着いた時期に、感染対策を徹底した上で、授業や行事の様子を家庭に公開した。				
取組による効果	・コロナ禍における学校の新しい生活様式を取り入れ、工夫して取り組んだ教育活動を見ていただくよい機会となった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、参観者の人数を制限するなど、「より多くの人に公開する」というこれまでの目標とは異なる実施方法となった。その中で、活動内容や家庭への公開の仕方を工夫し、授業や行事の様子を家庭に公開することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・各校の実情に応じた「学校公開日」を設定し、授業や行事の様子を家庭や地域に広く公開していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・これまでの「学校の日」という名称を改め、令和3年度からは各学校で「学校公開日」を設け、各校の特色を生かした教育活動を家庭や地域に公開していく。学校だよりやホームページ等で、期日や活動内容を案内していく。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	1 市民・協働				主管課	商工観光課
施策	② 市民協働の推進					
改革手段	1 協働の仕組づくり					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	13

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		イベントにおけるボランティア活動の促進	イベント（市民まつりなど）へのボランティア参加を促進する。	>>>						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・市民まつりボランティアについては、現在の取組みを継続しながら、必要なボランティア活動を収集し、適宜関係団体との調整に取り組む。 ・観光まちづくりボランティア講座については、引き続き、登録者や参加者がやりがいを持ち継続して活躍できる場の創出に取り組む（観光ボランティアガイドやSNSによる情報発信など）。				
取組内容	【取組中】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、市民まつりを始めとする各種イベントが開催中止となったため、事業としての実施ができなかった。 ・ボランティア講座についても同様の理由により、中止した。				
取組による効果	・新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、事業実施できなかった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	1点	目標に至らない効果達成
取組に対する自己評価	・新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、事業実施できなかったため、目標に至らない効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・市民まつりボランティアについては、現在の取組みを継続しながら、必要なボランティア活動を収集しつつ、コロナ禍におけるボランティア活動について、適宜関係団体との調整が必要である。 ・観光まちづくりボランティア講座についても、登録者や参加者がやりがいを持ち継続して活躍できる場の創出に取り組む（観光ボランティアガイドやSNSによる情報発信など）とともに、コロナ禍における活動実施に向けた対策等を検討する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・市民まつり等イベントボランティアについては、現在の取組みを継続しながら、必要なボランティア活動を収集し、適宜関係団体との調整に取り組む。 ・観光まちづくりボランティア講座については、引き続き、登録者や参加者がやりがいを持ち継続して活躍できる場の創出に取り組む（観光ボランティアガイドやSNSによる情報発信など）。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	道路河川管理課 公園緑地課
施策	② 市民協働の推進		
改革手段	1 協働の仕組づくり		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	13

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				令和元	2	3	4			
3		アダプトプログラム の 推進	民間での管理の 促進や町内会な どによる公共施 設の美化のため の組織化を推進 する。					・市民協働の推進 ・地域の連携の醸成 ・ボランティアの活用	道路河川管理課 公園緑地課	
				・道路や河川の美化清掃活動の実施 ・公園や広場等の地元管理の推進						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・訪問計画書を作成し、訪問予定管理や事業所周辺の美化状況等をまとめ、訪問数増加を図る。				
取組内容	【取組中】 ・訪問計画に基づき、4件の事業所へ訪問を行った。（昨年度比2件増） ・事業所の性格に合わせた、活動の提案を行った。				
取組による効果	・事業所への訪問により、4件の内新規2件の申し込みがあった。 ・新たに、事業所等へ活動提案をすることで、地元要望とアダプトプログラムの活動を一致させることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・新型コロナウイルス感染症の影響により訪問計画の目標を10件から半数以下とし、訪問できた事業所は4件であった。 ・地元要望とアダプトプログラムの活動が一致することによって、効果や継続性があるほか、地域の連携に繋がるため目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・活動場所の提案をする際に場所の候補が少なく、提案ができないことがあるため、場所の候補を増やす方法を検討する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・活動場所として提案できる箇所のリストを作成する。そのために、活動できる場所の情報について他課と共有を図る。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	市民協働国際課
施策	② 市民協働の推進		
改革手段	2 市民活動の支援		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	14

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1		ボランティア・NPO 等の人材育成と運営支援	各種講座・研修会等の開催、情報提供及び資金支援などにより活動を支援する。	>>>>>>>>>>>>>>>				・団体の自立発展 ・団体活動の活性化	市民協働国際課	
					・講座開催による新たな人材の確保 ・NPO法人の運営支援に対する補助金交付等					

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き、若者ボランティア体験講座やボランティア・市民活動の体験、養成講座を実施する。 ・新たに、ボランティア・NPOマンパワー養成講座を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・若年層を対象に体験できる26事業から、自分がやりたいボランティアを行う、若者ボランティア体験講座を実施した。 ・ボランティア・NPOマンパワー養成講座を目的として、もっと伝わるSNS活用術、心をつかむチラシ・WEBデザイン講座の2講座を実施した。 ・市民活動の登録団体に委託して、ボランティアの人材育成を図るため、防災ボランティア体験講座を実施した。				
取組による効果	・若者ボランティア体験講座では、高校生・大学生の参加者54名に、行政の事業や市民活動団体が主催する事業などを体験してもらったことで、若年層が市民活動等に関心を持つことや参加するきっかけをつくることができた。 ・ボランティア・NPOマンパワー養成講座やボランティア体験養成講座などの市民活動講座を3講座実施し、延べ74名の参加者に市民活動団体の人材育成や市民活動への参加促進を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・若者ボランティア体験講座を始め、ボランティア・NPOマンパワー養成講座やボランティア体験養成講座などを通し、NPO各団体の人材育成や市民活動への参加促進と意識啓発が図れたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・多様なスキルを持った人材を市民活動に生かすことができるよう、ボランティア意識向上と参加へのきっかけに繋がる講座や啓発の取り組みについて検討する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き、若者ボランティア体験講座やボランティア・NPOマンパワー養成講座、ボランティア・市民活動の体験養成講座を実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	環境課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	1 企業などとの連携		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	15

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1		環境保全活動に係る企業の情報共有	環境をテーマに社会貢献活動を行っている市内・事業所と情報共有を行う。	>>>>>>>>>>>>>>				- 官民連携による活動の拡大 - 環境目標の実現 - 市内事業所との協働	環境課	
				市内企業などとの情報共有						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・環境保全活動に係る企業などとの情報共有を図り、各企業の活動などを市民に周知する場を提供する。				
取組内容	【取組中】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、ひまわり農業協同組合と協働する「緑のカーテン育て方講座」や、各企業の活動を紹介するおいでん祭「環境コーナー」が中止となった。 ・上記のような環境保全活動を、より幅広く展開していくため、とよかわ環境パートナーシップ制度を創設した。				
取組による効果	・事業が中止となったり、制度を創設した年度であったため、直接的な効果はないが、環境パートナー制度の創設は将来的な効果を期待できる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・新型コロナウイルス感染症の影響による中止はやむを得ないものであるが、環境基本計画の重点施策に掲げる「とよかわ環境パートナーシッププロジェクト」の制度を環境保全活動に係る企業と情報共有し、創設することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・今後の協働事業に関しては、参加企業等に環境パートナーとして登録していただくものだが、初めての試みのため、連携を進めていくうえでの情報が少なく先進地に助言を求めていくことになる。
今後の具体的な取組予定	・ひまわり農業協同組合や工務店等に講師を依頼する環境講座を定着させる。 その他、市主催の環境講座の手伝いをしてくださる企業等を探し、連携を深めていく。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		1 市民・協働				主管課	介護高齢課			
施策		③ 企業など他団体との連携の強化								
改革手段		1 企業などとの連携								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	15			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		企業・民間団体と連携したサービスの展開	子育て支援、高齢者・障害者福祉などのサービスを企業・民間団体と連携して提供する。					民間による市民サービスの充実	介護高齢課	
				企業・民間団体との連携					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き実施内容の充実や、実施箇所数の増加に努め、認知症カフェへの支援を継続していく。また、運営費補助を受けていない認知症カフェについても立ち上げや継続支援など、認知症地域支援推進員や生活支援コーディネーターと連携して対応していく。				
取組内容	【取組中】 ・より効果的、効率的に認知症カフェを支援することができる手法を検討した結果、医療、介護、福祉等多職種間の連携を強化するICTツール「電子@連絡帳」内に、認知症カフェ担当者や認知症地域支援推進員等が気軽に意見交換できる場を設けるとともに、その場が風化してしまわないよう、適宜、投げかけや関連情報の提供などを行った。				
取組による効果	・投げかけや関連情報の提供に対して返信もあり、カフェ活動の活性化に効果が出ていると考えられる。なお、認知症カフェ実施箇所数の増加に関しては、新規で2箇所の実施予定を把握しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により開設が見送られている状況となっている。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・新型コロナウイルス感染症の影響により認知症カフェの新規開設が見送られている状況にあるが、今できることとして、認知症カフェ担当者を始め、認知症施策に携わる関係多職種が気軽に意見交換できる場を設けるなど、活動の活性化につながる取組みができていることから、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・認知症カフェは特別な場所というのではなく、誰でも気軽に参加できる楽しい集いの場であるということが地域住民に認識されていくような普及啓発が必要と考える。
今後の具体的な取組予定	・認知症カフェ担当者や認知症地域支援推進員等が気軽に意見交換できる場を活用し、実施可能な協働事業を検討していく。（カフェにおける認知症サポーターの活用、展示会といった啓発イベント、動画等啓発コンテンツの開発など）

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	人事課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	2 大学などとの連携		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	16

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		インターシ ップの拡大・ 充実	大学生を受け入 れ、職場体験を実 施する。	>>>>>>>>>>>>>>				- 学生の職業意識の向上 - 市政への理解の拡大	人事課	
				- ホームページへの募集情報の掲載 - 学生の受入						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き、積極的に学生のインターンシップの受入を行う。				
取組内容	【取組中】 ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、実施しなかった。				
取組による効果	・未実施のため、効果は得られなかった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	1点	目標に至らない効果達成
取組に対する自己評価	・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため実施を見合わせたことから、学生の職業意識の向上と市政への理解の拡大を図ることができなかったため、目標に至らない効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・インターンシップの受入を積極的に行うためには、各課の協力が必要である。 ・新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たないため、実施は難しい状況である。
今後の具体的な取組予定	・引き続き、積極的に学生のインターンシップの受入を行う。ただし、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を勘案して、実施の可否について判断する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	学校教育課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	2 大学などとの連携		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	16

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
3		学校との協働事業の推進	小中学校・高校において、体験や講座などの協働事業を行う。	>>>>>>>>>>>>>>				・学ぶ機会の充実 ・ボランティア意識の向上	学校教育課	
				小中学校での協働による学習支援						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・児童生徒にとってより実りのある機会となるように、各学校へ呼びかけを継続していく。 ・より多くの大学生を確保するため、各機関へ働きかけを継続する。				
取組内容	【取組中】 ・各学校で夏季休業中に小中学生の学習支援、学ぶ機会の充実をめざしてサマースクールを実施する準備を進めていたが、緊急事態宣言の影響などにより夏休みが短縮されることとなったため、中止することとなった。				
取組による効果	・夏休みの短縮により、中止となったため、効果の検証ができなかった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	1点	目標に至らない効果達成
取組に対する自己評価	・各学校において、夏季休業中の小中学生への学習支援、学ぶ機会の充実をめざしてサマースクールを実施する準備を進めていたが、結果的には令和2年度はサマースクールを行うことができなかったため、目標に至らない効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・参加する大学生の数を増やしていくことが課題となっている。大学への案内を増やすなどして、参加者の確保に努める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・各学校で工夫した体験や講座などを企画していただき、そこへ大学生の効果的な配置をすることで、各学校の取り組みがより良いものになるようにする。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	1 市民・協働				主管課	企画政策課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化					
改革手段	3 広域行政の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	17

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1		事務事業の共同処理の推進	現行の事務事業や権限移譲により対応する事務事業を広域で共同処理する。					・経費の削減 ・人員の削減	企画政策課 関係各課	
				各事務事業で随時共同処理の検討・実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・継続的に実施される会議等において、東三河広域連合の取組みに係る情報把握に努める。				
取組内容	【取組中】 ・東三河広域連合と連携しながら、事務事業の共同処理について検討及び準備を進める。令和2年度は、滞納整理業務体制の見直し、強化についての調整などを行った。				
取組による効果	・事務を共同で行うことにより、効果的な事業の実施を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・東三河広域連合において、8分野（滞納整理、航空写真作成、社会福祉法人の認可及び監査、障害支援区分認定、消費生活、介護保険、旅券発給、東三河の魅力発信）の事務に係る共同処理を実施しているため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・東三河広域連合と連携しながら情報収集を行い、事務事業の共同処理について検討を進める。
今後の具体的な取組予定	・継続的に実施される会議等において、東三河広域連合の取組に係る情報把握に努める。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	企画政策課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	3 広域行政の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	17

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				令和元	2	3	4			
3		東三河の広域連携体制の検討・構築	東三河広域連合と連携し、広域的な課題に対応する行政の広域連携体制の強化について検討、構築する。					・業務対応力の強化 ・市民サービスの向上 ・経費の削減 ・人員の削減	企画政策課	
			・広域連携事業の調査、研究、実施 ・共同処理事務の調整、取組 ・権限移譲事務の調査、研究						関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・継続的に実施される会議等において、東三河広域連合の取組みに係る情報把握に努める。				
取組内容	【取組中】 ・東三河広域連合において、8分野（滞納整理、航空写真作成、社会福祉法人の認可及び監査、障害支援区分認定、消費生活、介護保険、旅券発給、東三河の魅力発信）の事務に係る共同処理を実施している。				
取組による効果	・行政サービスの水準維持・向上とともに、経費の削減、事務の効率化を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・事務の共同処理や共同化の取組みは順調に進んでいるため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・今後のさらなる事務の共同化に係る検討について、東三河広域連合を含め関係市町村と慎重に取り組む必要がある。
今後の具体的な取組予定	・継続的に実施される会議等において、東三河広域連合の取組みに係る情報把握に努める。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課							企業立地推進課 商工観光課 農務課		
施策	① 地域情報化の推進										
改革手段	1 地域情報化の推進										
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組							該当ページ	18			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他	
				令和元	2	3	4		関係組織		
1		産業情報の発信強化	空き工場・店舗や中小企業支援・農作物の情報をICTを活用して発信する。	>>>>>>>>>>>>>>					•地域産業の活性化	企業立地推進課 商工観光課 農務課	
				・空き工場・店舗用地の情報提供 ・中小企業支援施策の情報提供 ・農畜産物の情報提供							

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・市ホームページによる空き工場用地の情報提供を継続する。 ・積極的な情報収集に努め、新しい情報が提供できるように努める。 ・定期的に開催される会議等において、積極的に情報交換を行い効率的に情報収集ができるように努める。 ・市ホームページを見やすく整理をし、常に情報の更新を行う。				
取組内容	【取組中】 ・空き工場用地の情報を収集し、市ホームページで公開することで、市内産業情報の発信を行った。 ・制度内容と市ホームページURLを市の企業誘致PRパンフレットに掲載し、情報発信の強化を図った。 ・中小企業者向けの施策について、関係機関への情報提供や市ホームページへの掲載を通じて、中小企業者へ情報発信を行った。 ・農業者に対する新型コロナウイルス感染症に係る支援制度を同ページにまとめて掲載した。 ・こだわり農産物の出荷状況に関する情報を毎週更新し、リアルタイムの発信を行った。				
取組による効果	・空き工業用地情報提供制度の内容について情報発信することができた。 ・情報発信する中から、工場の新増設を検討する企業等からの問い合わせに繋がり、分譲中の工場用地の案内に結び付けることができた。 ・関係機関等と連携を図りつつ、中小企業支援に関する情報をまとめることで、効果的に施策の情報発信を実施することができた。 ・農業者に対する新型コロナウイルス感染症の支援に関する問い合わせに対して同ページに掲載していることでホームページの案内が適切に行えた。 ・市ホームページの新着情報にこだわり農産物の掲載が増えたことで周知につながった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・市ホームページや企業誘致案内パンフレットにより、空き工場を活用した進出を検討する企業への情報発信をすることで、豊川市の分譲用地のPRができたため、目標どおりの効果達成度とした。 ・市ホームページでは、中小企業者向けの施策について項目ごとに情報を掲載し内容を分かりやすく記載するとともに、関係機関と共通認識を図りながら積極的に情報発信を行うことができたため、目標どおりの効果達成度とした。 ・農業者支援やこだわり農産物の情報を更新することで発信の強化につながっているため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・さらなる活性化を図るためには、企業の操業状況等の情報を収集し、空き工場用地情報を適宜更新していく必要がある。 ・工場新增設を検討する企業への各種支援施策について、積極的な活用を促進するとともに関係機関との連携を図り、最新の情報を収集することが必要である。 ・情報を効果的に発信しつつ、各種支援施策の積極的な活用を促進することや関係機関等との情報交換により、最新の情報を収集する必要がある。 ・既存のページに掲載されている情報の整理を行うことが、更なる情報の発信強化につながると考える。
今後の具体的な取組予定	・市ホームページによる空き工場用地の情報提供を継続する。 ・積極的な情報収集に努め、新しい情報を提供できるように努める。 ・現在の取組を継続するとともに、定期的に開催される会議等において、積極的に情報交換を行い、効率的に情報収集ができるように努める。 ・市ホームページを見やすく整理をし、常に情報の更新を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		2 情報・共有				主管課	秘書課			
施策		② 広報機能の強化								
改革手段		1 広報機能の強化								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	19			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1		広報とよかわの充実化	毎月発行する広報「とよかわ」の内容を充実させる。	>>>>>>>>>>>>>>				・広報力の強化	秘書課	
				掲載内容・方法の検討						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・広報「とよかわ」の特集やコンテンツの質の向上を図る。				
取組内容	【取組中】 ・広報「とよかわ」6月号から、市民が最も関心を寄せる新型コロナウイルス感染症対策のページを新設した。 ・広報「とよかわ」8月号、2月号で、新型コロナウイルス感染症を特集した。 ・広報「とよかわ」6月号の折込で、新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援一覧（市民・事業者向け）、感染拡大を防ぐ新しい生活様式の周知を図った。				
取組による効果	・令和2年度愛知県広報コンクールにおいて、広報「とよかわ」8月号が入選を受賞することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・広報「とよかわ」に関する電子市政モニターによるモニタリングの結果、「読みやすい」（51.1%）、「読みにくい」（3.3%）という結果でした。また、「情報量についての感想」（問5）で69.6%が「ちょうどよい」と回答しており、概ね良好な評価が得られたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 市民が求める情報の把握に努めながら、定期的な見直しや新たなコンテンツ作りを進めていく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ 常に市民目線で、広報「とよかわ」の特集やコンテンツの質の向上を図る。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	2	情報・共有	主管課	秘書課
施策	②	広報機能の強化		
改革手段	1	広報機能の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	19

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		多様なツールを活用した市政情報の発信	ホームページ、SNS、動画等の多様なツールを活用し、市政情報を発信する。					・広報力の強化	秘書課	
				ホームページ、Twitter [*] や Facebook [*] 、動画等の活用						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・シティセールスの重要な手段の一つとして、SNSの運用を効果的に進める。				
取組内容	【取組中】 ・ホームページの新着記事や各課ページの更新状況を定期的にチェックし、鮮度の高い情報発信を行った。 ・SNSを活用した積極的な市政情報の発信を行った。（Facebook掲載数117件、Twitter掲載数131件、Instagram掲載数95件）				
取組による効果	・市ホームページを最新の状態にすることで、市民に対して、常に鮮度の高い情報を提供することができた。 ・「いいね」や「フォロー」機能を利用することで、利用者との双方向コミュニケーションなどを実現させた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・市ホームページは、市民が最も関心を寄せる新型コロナウイルス感染症の情報を緊急情報としてトップページに配置し、感染者やワクチン等の情報をわかりやすく掲載したため、目標どおりの効果達成度とした。 ・SNSについては、継続的な投稿を行い、令和3年3月末現在、Facebook登録者は3,398件（対前年371件増）、Twitter登録者は3,211件（対前年406件増）、Instagram登録者は5,652件（対前年1,248件増）となるなど、着実にフォロワー数が増加したため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・庁内各課が、鮮度の高い情報発信を積極的に行えるように、広報意識の向上に向けた継続的な意識啓発が必要となっている。
今後の具体的な取組予定	・SNSの現在の運用について分析し、効果的な発信方法等について検討する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課	行政課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	1 分かる化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	20

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1		文書作成に関するマニュアルの充実	分かりやすい文書や帳票類の標準化を進め、分かりやすさや行政の説明力の向上を図る。	>>>>>>>>>>>>>>>				・分かりやすさの向上 ・説明責任、透明性の拡充	行政課	
				マニュアルの充実化						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・文書事務の手引き等のマニュアルを適切に改訂するなどし、それらを活用した職員研修を実施することにより、分かりやすい公文書の作成と文書事務の効率化に努める。				
取組内容	【取組中】 ・文書事務についての知識と理解を深めるため、職員研修を行った。 ・文書事務の手引きを改訂するとともに、職員へ周知した。				
取組による効果	・職員研修により、職員の文書事務についての知識を深めることができた。 ・文書事務の手引き等の改訂及び活用により、分かりやすい公文書の作成と文書事務の効率化を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・文書事務の手引き等の活用や職員研修により、分かりやすい公文書の作成と文書事務の効率化を行うことができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・職員への研修については、新たに採用される職員もいるため、文書事務の手引き等を活用し、毎年度継続的に行っていく必要がある。
今後の具体的 な取組予定	・文書事務の手引き等のマニュアルを適切に改訂するなどし、それらを活用した職員研修を実施することにより、分かりやすい公文書の作成と文書事務の効率化に努める。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	2	情報・共有	主管課	財政課
施策	③	説明責任と透明性の拡充		
改革手段	1	分かる化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	20

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		豊川市の姿の作成・公表	次年度の豊川市の姿として、予算に加えて市民に身近な事業内容等を分かりやすい形で公表する。					・分かりやすさの向上 ・施策の認知度向上	財政課 関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・次年度の豊川市の姿として、予算に加えて市民に身近な事業内容等を分かりやすい形で公表する。				
取組内容	【取組中】 ・当初予算公表資料として作成する「予算の姿」に、写真や図を積極的に掲載することで、事業内容などを分かりやすく伝える資料を作成した。				
取組による効果	・写真や図を活用することで市民に分かりやすい形で予算と事業内容を公表できた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・写真や図を活用することで市民に分かりやすい形で予算と事業内容を公表できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・他市の公表方法なども研究し、より分かりやすい内容に改善していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・「豊川市予算の姿」にSDGsのピクトグラムをつけるなど予算記者発表資料を全体的に見直し、リニューアルを行う。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	2	情報・共有	主管課	生涯学習課
施策	③	説明責任と透明性の拡充		
改革手段	1	分かる化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	20

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
3		新たな施策に関する出前講座の開催	主要な新規事業と新たに策定した計画を出前講座メニューとして位置づけ実施する。	>>>>>>>>>>>>>>>				- 分かりやすさの向上 - 新たな施策の認知度向上	生涯学習課	
				講座の実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・利用状況について、生涯学習課で把握後、他課にもフィードバックするなどして相互理解を深めたうえで、新たな施策に関する出前講座開設の可能性を引き続き模索していく。				
取組内容	【取組中】 ・関係各課と密に連携し、新たな施策に関する新規講座の開設を模索した。 ・講座終了後に実績報告書を提出していただくことで、正確な利用状況の把握に努めた。				
取組による効果	・関係各課と密に連携し、新規講座を3件（①高齢者の体力テスト②豊川市コミュニティバス乗り方教室③マイナンバーカードをつくってみよう）開設した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・各課において新規出前講座メニューを開設したことで、市民にとって新たに学習する機会を創出することができたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・行政の分かる化を推進するため、今後も関係各課と密に連携し、出前講座メニューの充実を図る必要がある。
今後の具体的な取組予定	・利用状況を基に他課との相互理解を深めたうえで、新たな施策に関する新規出前講座メニューの開設、リニューアルの可能性を引き続き模索していく。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		2 情報・共有				主管課	秘書課			
施策		③ 説明責任と透明性の拡充								
改革手段		2 見える化の推進								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	21			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1		情報提供の充実	パブリシティの手引きの周知や広報研修・訓練を実施する。	>>>>>>>>>>>>>>>				・情報発信力の強化 ・見える化の推進	秘書課	
				・パブリシティの手引きの周知 ・危機管理広報研修等の実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・広報意識改革研修会等を開催して、パブリシティガイドの周知や、メディア掲載に結び付く手法等を啓発する。				
取組内容	【取組中】 ・広報意識改革研修会は、講師を依頼し開催に向け調整を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかった。 ・市民が最も関心を寄せる新型コロナウイルス感染症に係る情報については、豊川市新型コロナウイルス感染症対策本部等で決定された施策等を積極的に市民に周知するよう記者発表を行った。				
取組による効果	・新型コロナウイルス感染症に係る情報について、速やかに記者発表を行うことができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・新型コロナウイルス感染症の影響により、広報意識改革研修会等が開催できなかったが、新型コロナウイルス感染症に係る情報を速やかに発信できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	- 取材価値を高めるため、報道資料の記載内容や表現の質を向上させる必要がある。 - メディア掲載に結びつく有効な報道発表手段を研究する必要がある。
今後の具体的な取組予定	- 各種研修会等を開催して、パブリシティガイドの周知や、メディア掲載に結び付く手法等を啓発する。 - 危機管理広報研修会を開催し、事件・事故、職員の不祥事などの危機発生時、またはそのおそれがある場合に、市民の安全・安心や、市役所への信用失墜の防止を図るための対応方法等について周知する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	2	情報・共有	主管課	企画政策課
施策	③	説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2	見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	21

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
3		庁内評価結果の公表	庁内における評価などの結果を公表する。	>>>>>>>>>>>>>>				・開かれた市政の実現	企画政策課	
				庁内評価の結果公表					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ 庁内評価における評価作業及び事業の取組みについての実施状況をホームページに公開することにより、開かれた市政の実現を目指す。				
取組内容	【取組中】 ・ これまでに実施した庁内評価に加えて、豊川市DX計画といった政策間連携ワーキングの取組内容を豊川市ホームページにより公表した。				
取組による効果	・ 政策の決定に向けた取組みを市民に向けて公開することにより、開かれた市政の実現に寄与した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ 政策間連携ワーキングについて公表できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・公表結果を踏まえて効果的な事業の実施につながるよう、常に実施事業に対するPDCAの実施に向けて担当課への意識付けが必要である。
今後の具体的な取組予定	・今後も継続的に公開することにより、開かれた市政の実現を目指す。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	2	情報・共有	主管課	企画政策課
施策	③	説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2	見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	21

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
4		各種計画策定状況の公開	各種計画策定の途中の状況を、統一的な体裁で公表する。	>>>>>>>>>>>>>>				・透明性の向上	企画政策課	
				計画策定過程の公開					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き各種計画策定状況に係る調査及び公開を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・各課に各種計画策定状況について調査を実施するとともに、実施方針に基づき第6次総合計画の改訂や第3都市計画マスタープランの策定など令和2年度までに策定した各種計画を豊川市ホームページにより公開した。				
取組による効果	・市政の透明性が向上し、見える化の推進に寄与できた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・実施方針に基づき公開することで、計画策定状況の透明性の向上が図られたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・新たに策定された計画等について情報発信できるように、各課と情報を共有する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組を実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	2 情報・共有				主管課	財政課				
施策	③ 説明責任と透明性の拡充									
改革手段	2 見える化の推進									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	21				
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
5		「市債四季報」の公開	市債残高を「市債四季報」により四半期ごとに公表する。							

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・市債残高を「市債四季報」により四半期ごとに公表する。				
取組内容	【取組中】 ・四半期ごとに、全会計の市債残高及び市民一人当たりの市債残高をホームページにて公表した。				
取組による効果	・市債残高を「市債四季報」により四半期ごとに公表することで、市政の財政状況の透明性向上が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・全会計に係る市債残高の状況を、市民一人当たりの金額に換算するなどして、市民に分かりやすく情報発信し、財政状況の透明性の向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 公開形式（四季報の形態）と公開時期の検討。
今後の具体的な取組予定	・ 今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	2 情報・共有				主管課	行政課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充					
改革手段	2 見える化の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	22

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
6		情報公開制度の充実	情報公開制度の積極的な取組を図る。	>>>>>>>>>>>>>>				・市政の透明性向上	行政課	
				正確でわかりやすい行政情報の提供						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・情報公開事務の手引きを活用し、職員の情報公開制度への理解を深めるとともに、適切に事務を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・情報公開制度の理解を深めるため、職員に対し研修を実施した。 ・公文書開示請求に対し、情報公開条例に基づき適切に開示決定等を行った。 ・各課等に対し、行政情報の積極的な提供を促した。				
取組による効果	・職員研修により、職員の情報公開制度や事務手続についての理解を深めることができた。 ・制度の適切な運用や積極的な情報提供により、市政の透明性の向上を図ることができた。（開示請求件数109件）				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・職員への制度の周知や教育を行うとともに、制度の適切な運用や積極的な情報提供を図り、市政の透明性の向上に資することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・制度の周知・教育については、新たに採用される職員もいるため、毎年度継続して職員研修を実施していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・情報公開事務の手引きを活用し、職員の情報公開制度への理解を深めるとともに、適切に事務を実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	2 情報・共有				主管課	企画政策課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充					
改革手段	2 見える化の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	22

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
7		審議会等の会議の公開	審議会等の会議の公開に関するガイドラインに基づき会議を公開する。	>>&						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き各審議会等の公開を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・豊川市審議会等見える化ガイドラインの運用を行ったものの、「市主催行事の開催及び公共施設の使用における対応方針」（新型コロナウイルス感染症対策本部）に基づき、各審議会を非公開又は書面開催とすることが多かった。				
取組による効果	・感染症対策のため審議会等を公開とすることができず市政の透明性という点では十分な効果が得られなかった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	1点	目標に至らない効果達成
取組に対する自己評価	・新型コロナウイルス感染症対策のため議事録等の公開により、市政の透明性を一定程度確保できたが、各審議会を非公開とすることが多かったため、目標に至らない効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・透明性の向上が図られることを目的として、審議会等の会議を公開できるよう、職員に審議会等の見える化ガイドラインを周知することが必要である。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組を実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	2	情報・共有	主管課	企画政策課
施策	③	説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2	見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	22

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
8		会議スケジュールの公開	会議のスケジュールをホームページなどで公開する。	>>>>>>>>>>>>>>				・市政の透明性向上	企画政策課	
				ホームページなどで公開					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き各審議会等のスケジュールの公開を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・引き続き審議会等のスケジュールについて、市ホームページ内で案内を行った。				
取組による効果	・市の透明性が向上し、「見える化」の推進に寄与できた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・公開して開催する審議会などのスケジュールをホームページで案内すること で、市政の透明性向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・今後も引き続き透明性の向上が図られることを目的として、会議スケジュールを公開できるよう、各課で会議スケジュールの情報提供を積極的に行っていくことが必要である。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	2	情報・共有	主管課	行政課
施策	③	説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2	見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	22

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
9		行政手続 [*] 制度の公表	行政手続の審査・処分基準や処理期間などを統一的に公開するとともに、各課に説明資料を備え置く。					- 公平性の確保 - 市政の透明性向上	行政課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き担当各課に個別票の内容確認を依頼し、必要に応じてホームページなどの更新を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・法令や条例等に基づく手続の審査（処分）基準や処理期間などを整理した個別票をホームページで公開（申請に対する処分：558件、不利益処分：514件）するとともに各課に個別票を備え置いた。 ・法改正等による個別票の追加、廃止及び改正を行った。				
取組による効果	・個別票の内容確認を担当各課に依頼し、最新の個別票を公開するとともに各課へ備え置くことができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・取組みによる最新の個別票の公開により、公平性の確保や市政の透明性の向上が図られたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・課によって個別票の内容等に違いがあるため、統一された内容となるように取組む必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き担当各課に個別票の内容確認を依頼し、必要に応じてホームページなどの更新を実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	2	情報・共有	主管課	行政課
施策	③	説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2	見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	22

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
10		外郭団体*に関する情報公開	外郭団体の経営状況などを公開する。	>>>>>>>>>>>>>>				・外郭団体の透明性向上	行政課 関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も現在の取組みを継続する。				
取組内容	【取組中】 ・外郭団体に関する透明性の向上を図ることを目的として、引き続き外郭団体の見直し実施方針に基づき、外郭団体の概要整理票を作成し、財務状況を市ホームページで公開した。 【URL】 http://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/gyoseiunei/gyoseikaikaku/gaikakudantaiminaosi.html 対象の外郭団体は以下のとおり。 ・公益財団法人豊川市国際交流協会 ・公益社団法人豊川市シルバー人材センター ・公益社団法人豊川文化協会 ・株式会社本宮 ・豊川市開発ビル株式会社 ・豊川市土地開発公社 ・社会福祉法人豊川市社会福祉協議会 ・社会福祉法人豊川市保育協会 ・豊川市施設管理協会 ・豊川市観光協会				
取組による効果	・外郭団体の透明性が向上し、見える化の推進に寄与した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・外郭団体の経営状況を公開することにより、団体の透明性の向上に効果が得られたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・経営状況について引き続き公開することで、団体の透明性が図られるよう努める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も外郭団体の財務状況の公開などの取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	3 財政・資産						主管課	財政課		
施策	① 歳出の最適化									
改革手段	1 補助金などの見直し									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組							該当ページ	23		
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1		各種団体の運営費補助金の削減	各種団体の運営費補助を削減し、事業費の補助とする。	>>>>>>>>>>>>>>				・市費単独補助金の縮減	財政課 関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各種団体の運営費補助を削減し、事業費の補助とする。				
取組内容	【取組中】 ・令和3年度当初予算編成方針説明会において、各所属に見直しを依頼した。 ・令和3年度当初予算編成において、一部の補助金等を削減した。				
取組による効果	・子どもセンター活動費補助を始め3件の運営費補助を削減することで、市費単独補助金の縮減が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	1,374	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・当初予算ベースで、各種団体の運営費補助を3件（1,374千円）削減できた。金額的には少額であったが、一定件数の削減が実施できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 様々な団体があることから、一律の廃止や削減が難しい状況である。
今後の具体的な取組予定	・ 今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	3 財政・資産						主管課	財政課		
施策	① 歳出の最適化									
改革手段	1 補助金などの見直し									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組							該当ページ	23		
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		サンセット方式の徹底	新規補助金には 終期を設定し、再度継続の可否を検討するサンセット方式を徹底する。	>>>>>>>>>>>>>>>>>>				・市費単独補助金の縮減・抑制	財政課 関係各課	
				・新規補助金への対応 ・終期到来補助金の見直し、廃止						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・新規補助金には終期を設定し、再度継続の可否を検討するサンセット方式を徹底する。				
取組内容	【取組中】 ・令和3年度当初予算編成方針説明会において、新規補助金における終期設定などを説明するとともに、新規補助金の終期を記載した調書の提出を担当各課に依頼した。 ・令和3年度当初予算編成において、終期の到来した補助金の見直し、廃止を依頼した。				
取組による効果	・新規補助金には終期を設定し、再度継続の可否を検討するサンセット方式を徹底することにより、市費単独補助金の縮減・抑制につながった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	1,176	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・事業内容や進捗状況を確認することなどにより、令和2年度末で「地域空家対策等モデル事業費補助」をはじめとする3件の市単独補助金を終了（当初予算ベースで1,176千円削減）できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・サンセット方式の対象外となっている補助金の取扱い。 ・終期の到来した補助金に関し、各所属が廃止か継続かを判断するための基準設定について検討が必要。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		3 財政・資産						主管課	介護高齢課	
施策		① 歳出の最適化								
改革手段		1 補助金などの見直し								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組								該当ページ	23	
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
3		金銭給付制度の見直し	市単独の現金給付の制度について廃止を含めて見直しを行う。	>>>>>>>>>>>>>				・歳出の抑制	介護高齢課	
				取組実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後、直ちに敬老金の支給対象年齢等の見直しは予定していないが、県内及び近隣市町村の実施状況を確認しつつ、敬老金のありかたを検討していく。				
取組内容	【取組中】 ・敬老金として満80歳に5千円、数え88歳に1万円、満100歳以上に3万円を支給していたが、平成29年度より満80歳への支給を廃止した。 ・近隣市町村も同様に敬老金の支給の見直しをしており、他市の支給状況等の確認を行った。				
取組による効果	・満80歳の方への敬老金支給の廃止により、歳出の削減ができた。 ・令和2年度実績：11,931,326円 令和2年度（満80歳含む場合）：20,691,326円（満80歳対象者1,752人）				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	8,760	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・今後の見直しに向けて、令和2年度も引き続き近隣他市の実施状況確認、および代替福祉サービスの検討を行ったため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 敬老金支給の目的の一つである高齢者の所在実態調査という面においては、有効な代替策の実施には至っていない。
今後の具体的な取組予定	・ 令和3年度より数え88歳への支給を廃止し、緊急通報システム事業の対象者拡大、高齢者相談センター及び成年後見センターの職員の増員など、福祉需要の増大に対応する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	3 財政・資産						主管課	スポーツ課		
施策	① 歳出の最適化									
改革手段	2 事務事業の見直し									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組							該当ページ	24		
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		体育施設の 指定管理者 公募の実施	体育施設に指定 管理者制度を適 用する。	>>>>>>>>>>>>>>				・経費の削減 【9,409千円減】	スポーツ課	
				体育施設に指定管理制度を適用						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・基本協定及び年度協定に基づき、指定管理者による管理運営を実施する。					
取組内容	【取組中】 ・基本協定及び年度協定に基づき、指定管理者による管理運営を実施した。					
取組による効果	・指定管理者制度の導入により、体育施設の管理経費の削減、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図りながら3社の民間経営で得たノウハウを活かした管理運営を行うことができた。					
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	9,409		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	9,409		
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成	
取組に対する自己評価	・管理者制度の導入により、新型コロナウイルスの感染予防対策を実施しながら、3社の民間経営で得たノウハウを活かし、管理運営業務の効率化に伴うコスト削減を図るとともに、安全な管理運営を行うことができたため、目標どおりの効果達成度とした。					

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・市職員が施設の実情を十分に把握できるように、指定管理者との間で情報共有を行う必要がある。 ・指定管理者が、適正に施設運営しているか適切な監督を行う必要がある。
今後の具体的な取組予定	・基本協定及び年度協定に基づき、指定管理者による管理運営を実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	3 財政・資産						主管課	人事課
施策	① 歳出の最適化							
改革手段	2 事務事業の見直し							
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組							該当ページ	24

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
3		給与制度の見直し	各種給与・手当などを状況に応じて見直す。	>>>>>>>>>>>>>>				・経費の削減	人事課	
				状況に応じて随時見直し						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・令和2年度以降においては、引下げ後の退職手当支給率を継続実施する。				
取組内容	【取組中】 ・国家公務員の退職手当制度の改正にならない、平成30年度から退職手当支給率を引き下げた。				
取組による効果	・平成29年度退職手当支給率で計算した場合と比べて、令和2年度においては一般会計予算ベースでは32,243千円を削減した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	32,243	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・退職手当支給率の引下げにより32,243千円を削減したため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・民間企業における支給水準との均衡を図っている国家公務員の退職手当制度の改正に準じて、適正な支給水準等を維持するように努める。
今後の具体的 な取組予定	・令和3年度以降においては、引下げ後の退職手当支給率を継続実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		3 財政・資産				主管課	財政課			
施策		② 歳入の確保の強化								
改革手段		1 新たな収入確保の検討								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	25			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1		使用料・手数料の見直し	無料施設などの有料化の検討を含めた使用料・手数料の見直しを行う。	>>>&						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・前回の改定が平成28年度であり4年経過するため、通常であれば令和2年度に見直しを行う必要がある。しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴う公共施設の閉館等が発生しているため、令和2年度の改定は見送り、令和3年度以降、事態の収束時期を考慮しつつ、改定を行う。				
取組内容	【取組中】 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う公共施設等の臨時閉館や利用時間の短縮等が発生し、各施設の経費と収入の積算等が著しく困難となったことから、令和2年度の見直し（令和3年度の使用料等の改定）は先送りとした。				
取組による効果	・過去の取組みにより、自主財源の確保ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	19,025	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	1点	目標に至らない効果達成
取組に対する自己評価	・令和元年度の使用料等の改定により、約1,902万5千円の収入の増加が見込まれる結果となった（令和元改定に伴う効果額のスライド波及）。しかし、新型コロナウイルスの影響により、令和3年度の使用料等の改定を先送りとしたため、目標に至らない効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・概ね4年毎の通常の見直しにより、適正な使用料及び手数料の設定を行うこととしているが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う公共施設等の臨時閉館や利用時間の短縮等が発生しているため、見直しを行うにあたり調査時期を考慮する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・前回の改定が平成28年度であり、通常であれば令和2年度に見直しを行う必要があった。新型コロナウイルスの感染状況や経済等への影響を注視しつつ、適切な時期に改定を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	都市計画課
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	2 広告主募集制度の充実		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	26

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1		ネーミングライツ実施	公共施設の命名権を民間企業に数年間単位で付与する。	>>>>>>>>>>>>>>				・自主財源の確保【120千円増】	都市計画課	
				ネーミングライツの実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・命名権者が頻繁に変わることで、市民に混乱を招かないよう、引き続き現在の取組みを継続していく。				
取組内容	【取組中】 ・平成31年4月から3年間の命名権取得は決定しており、現在も継続している。				
取組による効果	・豊川市催事場命名権取得料金収入により、3年間で360千円確保した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	120		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	120	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・豊川市催事場の命名権の取得期間が3年間延長されたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・実施企業と調整を行い、今後も現在の取り組みを継続して実施してもらうことが重要である。
今後の具体的な取組予定	・命名権者が頻繁に変わること、市民に混乱を招かないよう、引き続き現在の取り組みを継続していく。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	3 財政・資産				主管課	都市計画課 一宮支所 音羽支所 御津支所 スポーツ課 財産管理課				
施策	② 歳入の確保の強化									
改革手段	2 広告主募集制度の充実									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	26				
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				令和元	2	3	4			
2		公共施設への 広告募集	公共施設に企業 広告を募集する。	<						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各施設で企業広告を募集し、自主財源の確保を図る。				
取組内容	【取組中】 ・6施設で取組みを実施し、自主財源の確保を図った。（別掲にあるとおり）				
取組による効果	・取組みの実施により、年間1,064千円の財源が確保された。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	1,160		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	1,088	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・6施設の取組みについて、おおむね一定の収入増加額を確保できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・各施設で継続して収入を確保できるように、企業等への働きかけが必要である。（各施設の課題については、別掲にあるとおり）
今後の具体的な取組予定	・今後も取組みを継続する。（各施設の取組予定については、別掲にあるとおり）

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)(別掲)**

将来像	3 財政・資産				主管課	都市計画課
施策	② 歳入の確保の強化					
改革手段	2 広告主募集制度の充実					
具体的取組	2 公共施設への広告募集					
公共施設への広告募集における別掲					該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			令和元	2	3	4			
1		催事場への広告募集					・72 千円増	都市計画課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・掲載箇所数を増加させるなど、さらなる自主財源の確保を検討する。				
取組内容	【取組中】 ・豊川市催事場では、平成26年度から3箇所で募集を開始し、実施企業に変更はあるものの、令和2年4月1日から1年間3箇所全ての掲載が決定した。				
取組による効果	・豊川市催事場の広告収入により、72千円を確保した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	72		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	72	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・豊川市催事場の広告は、3箇所の掲載を達成したため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・次年度以降も掲載箇所数が減ることのないように周知方法を検討していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・現在の取組みを継続させるために、周知方法や掲載方法について検討する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)(別掲)**

将来像	3 財政・資産				主管課	一宮支所
施策	② 歳入の確保の強化					
改革手段	2 広告主募集制度の充実					
具体的取組	2 公共施設への広告募集					
公共施設への広告募集における別掲					該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			令和元	2	3	4			
2		一宮支所での広告募集					・72 千円増	一宮支所	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・一宮庁舎内壁面に掲示する企業広告を募集し、広告料収入を得る。				
取組内容	【取組中】 ・一宮庁舎内壁面に企業広告を掲示し広告料収入を得た。 2,000円×12か月×3枠				
取組による効果	・広告料収入による自主財源の確保ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	72		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	72	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・壁面企業広告3枠の広告料収入が確保できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 今後も現在の取り組みを継続する。
今後の具体的な取組予定	・ 今後も継続的に取り組む。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)(別掲)**

将来像	3 財政・資産	主管課	音羽支所
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	2 広告主募集制度の充実		
具体的取組	2 公共施設への広告募集		
公共施設への広告募集における別掲		該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			令和元	2	3	4			
3		音羽支所での広告募集					・72 千円増	音羽支所	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・庁舎の壁面広告に掲示する有料広告を募集し、広告料収入を得る。				
取組内容	【取組中】 ・庁舎の壁面に有料広告を掲示し、広告料収入を得た。 2,000円×12か月×2箇所				
取組による効果	・広告料収入による財源が確保できた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	72		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	48	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・庁舎の壁面3箇所のうち1箇所掲載取り下げがあり2箇所の広告料収入となったが、おおむね一定の収入増加額を確保できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・新たな広告主を発掘する必要がある。 ・現在の広告主については、継続して広告を掲載してもらうよう理解を求める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)(別掲)**

将来像	3 財政・資産	主管課	御津支所
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	2 広告主募集制度の充実		
具体的取組	2 公共施設への広告募集		
公共施設への広告募集における別掲		該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			令和元	2	3	4			
4		御津支所での広告募集					・72 千円増	御津支所	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も現在の取組を継続すると共に新たな広告主の発掘に取組む。				
取組内容	【取組中】 ・御津庁舎の壁面に有料広告を掲示し、広告料収入を得た。 2,000円×12か月×2か所				
取組による効果	・広告料収入による財源が確保できた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	72		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	48	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・御津庁舎入口の壁面に3か所掲示を予定していたが、1か所の継続掲示がなく、なり2か所の広告料収入となったが、おおむね一定の収入増加額を確保できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・現在の広告主に今後も継続してもらう必要がある。 ・新たな広告主の発掘に努める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組を継続するとともに、新たな広告主の発掘に取り組む。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)(別掲)**

将来像	3 財政・資産				主管課	スポーツ課
施策	② 歳入の確保の強化					
改革手段	2 広告主募集制度の充実					
具体的取組	2 公共施設への広告募集					
公共施設への広告募集における別掲					該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			令和元	2	3	4			
5		武道館などの市内体育施設での広告募集	>>						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・本制度の周知を図り、残りの掲載枠への広告掲載を進める。				
取組内容	【取組中】 ・広告費を削減する企業が多い中でのスポンサー企業の獲得に努め、広告募集を行い、2枠の広告掲載が確保できた。				
取組による効果	・自主財源の確保が図られ、地域経済の振興が期待できる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	72		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	48	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・豊川市武道館内壁面広告募集の実施により、自主財源の確保を含め、広告掲載による地域経済の振興が期待できるため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 広告費を削減する企業が多い中で、継続掲載にあわせ新規掲載スポンサー企業の獲得。
今後の具体的な取組予定	・ 本制度の周知を図り、残りの掲載枠への広告掲載を進める。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)(別掲)**

将来像	3 財政・資産				主管課	財産管理課
施策	② 歳入の確保の強化					
改革手段	2 広告主募集制度の充実					
具体的取組	2 公共施設への広告募集					
公共施設への広告募集における別掲					該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			令和元	2	3	4			
6		市役所での広告付番号案内表示システム等設置事業者の募集					・800千円増	財産管理課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・新たな広告媒体の発掘など、更なる自主財源の確保を目指す。				
取組内容	【取組中】 ・企業広告放映を含んだ市民課窓口番号案内表示システムと正面玄関行事モニター・行政モニターの設置及び企業広告入り公共施設案内看板の設置を公募により実施した。				
取組による効果	・庁舎にかかる行政財産目的外使用料として、800千円の歳入を確保した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	800		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	800	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・目標どおり歳入を確保したので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・昨今の経済状況により広告費を削減する企業が多い中で、自主財源を確保するために広告方法などを工夫し、企業広告等の募集を強化する必要がある。
今後の具体的 な取組予定	・新たな広告媒体の発掘など、更なる自主財源の確保を目指す。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		3 財政・資産				主管課	一宮支所 音羽支所 御津支所 小坂井支所			
施策		② 歳入の確保の強化								
改革手段		2 広告主募集制度の充実								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	26			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
3		公用車への 広告募集	支所の公用車の側面に掲示する 広告主を募集し、 自主財源の収入増を図る。					・自主財源の確保 【144 千円増】	一宮支所 音羽支所 御津支所 小坂井支所	
				広告掲載						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ 公用車の側面に掲示する有料広告を募集し、広告料収入を得る。				
取組内容	【取組中】 ・ 公用車に有料広告を掲示し広告料収入を得た。 2,000円×12か月×6台				
取組による効果	・ 広告料収入による自主財源の確保ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	144		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	144	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ 一宮支所、音羽支所、御津支所、小坂井支所について、公用車計6台の広告料収入が確保できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・新たな広告主の発掘について検討する必要がある。 ・現在の広告主に継続して広告を掲載してもらうよう理解を求める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	清掃事業課 企画政策課
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	2 広告主募集制度の充実		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	26

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				令和元	2	3	4			
4		新たな広告収入の獲得	新たな媒体への 広告掲載を実施する。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・自主財源の確保 【150千円増】	清掃事業課 企画政策課	詳細はP.27
				広告掲載						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ごみカレンダーへ広告掲載主を募集し、広告料収入を得る。 ・引き続き積極的に広告主の募集を行い、広告料収入の獲得を目指す。				
取組内容	【取組中】 ・ごみカレンダーへの広告掲載を実施し収入増を図った。 ・事業系ごみ分け方・出し方マニュアルへの広告掲載を実施し収入増を図った。 ・乳幼児向け東三河地域公共施設無料開放案内チラシ及びポスターへの広告掲載を実施した。				
取組による効果	・広告料収入による自主財源の確保ができた。 ・自主財源の確保を行い、市民サービスの向上に寄与する。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	150		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	228	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	3点	目標を超える効果達成
取組に対する自己評価	・ごみカレンダー（3口×30千円で90千円）へ広告掲載したため目標どおりの効果達成度とした。 ・事業系ごみ分け方・出し方マニュアル（6口×20千円で120千円）へ広告掲載したため目標を超える効果達成度とした。（単年度のみ） ・掲載事業者の確保に努めたが、収入増加予定額に満たなかったため、目標に至らない効果達成度とした。 ・総合的に見ると、収入と加予定額を超える実績額であったため、目標を超える効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・引続き掲載事業者が確保できるように努める必要がある。 ・掲載事業者が確保できるように努める必要がある。
今後の具体的な 取組予定	・広告主の募集を行い、広告料収入の獲得を目指す。 ・引き続き積極的に広告主の募集を行い、広告料収入の獲得を目指す。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)(別掲)**

将来像	3 財政・資産				主管課	清掃事業課
施策	② 歳入の確保の強化					
改革手段	2 広告主募集制度の充実					
具体的取組	4 新たな広告収入の獲得					
新たな広告収入の獲得における別掲					該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			令和元	2	3	4			
1		ごみカレンダー等への広告掲載	>>						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ごみカレンダーへ広告掲載主を募集し、広告料収入を得る。				
取組内容	【取組中】 ・ごみカレンダーへの広告掲載を実施し収入増を図った。 ・事業系ごみ分け方・出し方マニュアルの広告掲載を実施し収入増を図った。				
取組による効果	・広告料収入による自主財源の確保ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	90		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	210	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	3点	目標を超える効果達成
取組に対する自己評価	・ごみカレンダー（3口×30千円で90千円）へ広告掲載したため目標どおりの効果達成度とした。 ・新たに事業系ごみ分け方・出し方マニュアル（6口×20千円で120千円）へ広告掲載したため目標を超える効果達成度とした。（単年度のみ）				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 引続き掲載事業者が確保できるように努める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ 広告主の募集を行い、広告料収入の獲得を目指す。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)(別掲)**

将来像	3 財政・資産	主管課	企画政策課
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	2 広告主募集制度の充実		
具体的取組	4 新たな広告収入の獲得		
新たな広告収入の獲得における別掲		該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			令和元	2	3	4			
2		乳幼児向け東三河地域公共施設無料開放案内チラシ及びポスターへの広告掲載					・60千円増	企画政策課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き積極的に広告主の募集を行い、広告料収入の獲得を目指す。				
取組内容	【取組中】 ・乳幼児向け東三河地域公共施設無料開放案内チラシ及びポスターへの広告掲載を実施した。				
取組による効果	・自主財源の確保を行い、市民サービスの向上に寄与する。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	60		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	18	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	1点	目標に至らない効果達成
取組に対する自己評価	・掲載事業者の確保に努めたが、収入増加予定額に満たなかったため、目標に至らない効果達成度とし達成				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・掲載事業者が確保できるように努める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き積極的に広告主の募集を行い、広告料収入の獲得を目指す。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	企業立地推進課
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	3 税収などの確保策の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	28

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1		企業誘致の推進	各種優遇策の活用や誘致活動を展開し、企業を積極的に誘致する。					・自主財源の確保【78,475千円増】 ・立地企業の増加 ・雇用の創出	企業立地推進課	
				企業誘致優遇制度などの実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・企業立地優遇制度を継続する。 ・企業誘致情報提供報奨制度を継続する。 ・産業展への出展や情報交換会の開催等を通じた情報発信活動を行う。 ・新規工業用地開発に向けた調査・調整を行う。				
取組内容	【取組中】 ・企業立地優遇制度（企業立地促進制度、市内企業再投資促進補助金、御津1区第2期分譲用地企業立地支援制度）を継続した。 ・企業誘致情報提供報奨制度を継続した。 ・産業展への出展については、コロナ禍のためオンライン開催等により情報発信活動を継続した。 ・新規工業用地開発に向けた調査・調整を実施した。				
取組による効果	・新たな企業進出により、自主財源の確保や雇用機会の創出につながれた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	78,475		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	90,700	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・平成26年度に完成した大木地区工業団地をはじめとする市内工業団地に優遇措置の認定を受けた進出企業が順次操業を開始しており、固定資産税の増額につながっている。令和2年度においても御津1区第2期分譲用地企業立地支援制度の活用により企業が御津1区工業団地の土地の購入を決めており、また、新たに企業が投資を行う際には市内企業再投資促進補助金を活用するなど、企業立地優遇制度の継続は有効であり、自主財源の確保や雇用機会の創出につながるものであるため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・市外企業への誘致活動を積極的に行うため、外部機関等の活用や企業訪問等による情報収集に更に注力する必要がある。 ・企業誘致における情報発信活動はシティセールスにも繋がるため、関係各課との連携により相乗効果が得られると考える。
今後の具体的な取組予定	・企業立地優遇制度を継続する。 ・企業誘致情報提供報奨制度を継続する。 ・産業展への出展や情報交換会の開催等を通じた情報発信活動を行う。 ・新規工業用地開発に向けた調査・調整を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	収納課
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	3 税収などの確保策の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	28

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		差押え物件のインターネット公売等の推進	差押えた物件をインターネット等を活用した公売により処分する。	>>>>>>>>>>>>>>				・自主財源の確保 [2,000千円増]	収納課	
				随時売却の実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・滞納処分により確保された差押財産のうち、インターネット公売に適した財産については、随時公売を執行する。				
取組内容	【取組中】 ・令和元年度中に不動産16件、自動車2件の差押を行い、公売を含めた折衝段階である。また、捜索を6件行い、差押に値する財産についてはインターネット公売を行った。				
取組による効果	・インターネットによる公売1件を行い、自主財源を確保することが出来た。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	2,000		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	24	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	1点	目標に至らない効果達成
取組に対する自己評価	・新型コロナ感染予防のため、滞納者との接触機会が減少したことにより取組が難しい一年であった。滞納処分により確保された差押財産の公売について、適切な時期に執行することができた。また、令和2年度中については折衝段階で公売執行には至っていないため、目標に至らない効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 差押物品は差押する財産及び捜索により財産が見つかった場合に確保できるものであるため、定期的な確保は難しい。
今後の具体的な取組予定	・ 滞納処分により確保された差押財産について、随時公売を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		3 財政・資産				主管課	財産管理課			
施策		② 歳入の確保の強化								
改革手段		3 税収などの確保策の強化								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	28			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
3		不用物品のインターネット公売の推進	不用となった物品の整理を行い、売却可能なものについて、インターネットで売却する。	>>&						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・新たな不用物品(出先機関で不要となった備品等)の掘り起こしを行い、更なる自主財源の確保に努める。				
取組内容	【取組中】 ・各課から出てくる物品不用決定通知書の伺いを見て、書面上使えそうなものがあれば、現物を確認した上で、インターネット公売による売却が可能か判断している。				
取組による効果	・令和2年度は、インターネット公売に適する物品が乏しく、自主財源の確保に至らなかった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	50		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	0	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	1点	目標に至らない効果達成
取組に対する自己評価	・公売に適する物品が乏しく、インターネット公売に至らなかったなので、目標に至らない効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 不用決定物品で売却可能な物品が乏しいため、不用物品の発掘に苦慮している。事務手続きに労力が必要となる一方、高額落札が期待できる物品がない。
今後の具体的な取組予定	・ 不用物品(出先機関で不要となった備品等)の情報収集などを行い、自主財源の確保に努める。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	3 財政・資産				主管課	市民税課
施策	② 歳入の確保の強化					
改革手段	3 税収などの確保策の強化					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	28

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
4		個人住民税の特別徴収の徹底	給与所得者の個人住民税の特別徴収を徹底する。	>>						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・特別徴収義務者に対する「地方税共通納税システム」の利用率向上を目指した啓発を実施する。 ・特別徴収税額の納付チャネル拡大の検討を行う。 ・外国人の出国に伴う退職時一括徴収の促進等、徴収率向上のための制度啓発を行う。				
取組内容	【取組中】 ・従業員3名以上の事業者で特別徴収未実施の事業者を特別徴収義務者として強制指定した。また、特別徴収を猶予した事業者において、猶予理由が適当でない事業者に特別徴収制度への理解と協力を求める勧奨を行っている。 ・外国人の出国に伴う退職時一括徴収の促進等、徴収率向上のための制度啓発を市ホームページへ掲載した。（英語・ポルトガル語・スペイン語・中国語・ベトナム語）				
取組による効果	・特別徴収義務者数は令和2年度10,298者で、平成27年度の6,913者と比較し、3,385者増加した。（参考値 令和元年度から150者増） ・特別徴収の納税者数は令和2年度が69,142人（給与所得の納税者数77,320人）で、平成27年度の54,785人と比較し14,357人増加した。（参考値 令和元年度から1,449人増） ・特別徴収率（給与所得者における特別徴収による納税義務者の割合）は令和2年度が89.42%で平成27年度の77.24%と比較して12.18%増加した。（参考値 前年特徴率88.99%。0.43%増）				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・特別徴収義務者数は増加し、特別徴収率も上昇している。普通徴収とする適切な理由がない事業所に対し、一定の基準に基づいて確実に特別徴収義務者として指定を行うことができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・市外特別徴収義務者の特別徴収税額納入における不便さ。 ・マイナンバー制度の導入による特別徴収義務者の特別徴収事務に対する負担感の増加。 ・愛知県主導の特別徴収県下一斉指定実施の予定がない。
今後の具体的 な取組予定	・特別徴収義務者に対する「地方税共通納税システム」の利用率向上を目指した啓発の実施する。 ・特別徴収税額の納付チャネル拡大の検討を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		3 財政・資産				主管課	財政課			
施策		③ 財政健全化の推進								
改革手段		1 会計手法の検討								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	29			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1		発生主義会計の導入	新公会計制度に基づく、発生主義会計を一般会計などにも導入し、財務諸表を分析して活用する。	>>>						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・新公会計制度に基づく、発生主義会計を一般会計などにも導入する。				
取組内容	【取組中】 ・団体間を同じ物差しで比較することのできる統一的な基準による財務書類等の整備を進めた。 ・新公会計制度について認識を深めてもらうため、全庁職員向けの説明会を開催した。				
取組による効果	・資産、償却、キャッシュフローの明確化ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・公表4年目ということもあり、前年度比較などの経年分析も含めながら年度内に公表できた。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、外部研修への参加はできなかったが、令和2年9月25日に全庁職員向けの説明会を開催し、新公会計制度について認識を深めてもらう場をつくるなど、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・作成する財務書類の活用方法について検討が必要である。
今後の具体的な取組予定	・経年分析やセグメント分析、類似団体との比較をはじめ、「作る」から「使う」公会計へ向かって、引き続き他団体の先進事例を参考に、本市の今後の対応方法を検討する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		3 財政・資産				主管課	下水管理課
施策		③ 財政健全化の推進					
改革手段		1 会計手法の検討					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	29

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		公共下水道事業等の地方公営企業法の適用による財政の健全化	地方公営企業法を適用することで、事業経営の健全化と透明性の向上を図る。	>>&						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き下水道職員研修を活用した知識の習得、中長期的な経営の基本計画となる「経営戦略」の作成、マネジメント体制の検討を行う。				
取組内容	【取組中】 ・下水道経営や消費税に関する研修を受講した。 ・経営の基本計画となる「豊川市下水道事業経営戦略」を作成した。				
取組による効果	・経営戦略を作成し、今後の下水道事業運営の基礎を築くことができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・最大目標である経営戦略を策定し、概ね問題なく企業会計の運用ができていることから目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・年度末に現金が不足する可能性があることから、資金計画を検討する必要がある。 ・経営戦略を作成した結果、将来的に収支ギャップの発生が想定されるため、その解消に向けた経営改善を行う必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き下水道職員研修を活用した知識の習得。 ・経営戦略の具体的な取組を進め、中長期的な収支計画を更新する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		3 財政・資産				主管課	財政課			
施策		③ 財政健全化の推進								
改革手段		2 経営基盤の強化								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	30			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1		財政計画の策定	本市の将来に渡る財政計画を策定する。	>>>						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・本市の将来に渡る財政計画を策定する。				
取組内容	【取組中】 ・中期財政計画（令和3年度～令和7年度）を令和2年8月に策定し、議会への配付及び公表を行った。				
取組による効果	・本市の将来に渡る財政計画を策定することにより、将来を見据えた計画的な財政運営につなげる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・当初予算を基準年度とした向こう5年間の推計を行い、将来に渡る財政の姿や運営上の課題を明らかにすることで、身の丈にあった財政規模による安定した財政運営を実現することを目的とした計画を策定することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・地方公共団体を取り巻く環境、税制改正及び市の財政状況等の変化に対応するため、毎年度ローリング方式による適正な見直しが必要である。 ・新型コロナウイルス感染症の影響や市長マニフェストの進捗状況等を考慮する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・新型コロナウイルス感染症への対策を踏まえた財政計画の策定及び財政運営を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		3 財政・資産				主管課	行政課 会計課			
施策		③ 財政健全化の推進								
改革手段		2 経営基盤の強化								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	30			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		外部アドバイザーの活用	公認会計士による経営状況の分析を行う。	>>>&						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き公募により指定した公共施設の指定管理者の経営診断を継続して行うとともに、税理士の専門的見地からのアドバイスを受けながら経営状況の分析を行う。 ・公認会計士の専門的見地からのアドバイスを受けながら、財務状況の安定している金融機関で公金の運用を行う。				
取組内容	【取組中】 ・公募により指定した公共施設の健全な管理運営のため、指定管理者の直近3年間の決算報告書等をもとに、公認会計士に経営状況等の分析を依頼した。 ・公金運用先金融機関選定の参考資料とするため、公認会計士に公金運用先金融機関の財務状況の分析を依頼した。				
取組による効果	・公募により指定した公共施設の財政及び管理運営の健全化に寄与することができる。 ・財務状況の安定している金融機関に公金を運用することができる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・公募により指定した公共施設の指定管理者の経営状況等の分析を実施し、施設の財政及び管理運営の健全化に寄与することができたため目標どおりの効果達成度とした。 ・予定どおり財務状況の分析を実施し安全に公金の運用を行うことができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・経営基盤強化のため、外部アドバイザーによるリスク管理を引き続き行う必要がある。 ・財務状況の安全な金融機関へ公金を運用するために、引き続き外部アドバイザーによるリスク管理を行う必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き公募により指定した公共施設の指定管理者の経営診断を継続して行うとともに、税理士の専門的見地からのアドバイスを受けながら経営状況の分析を行う。 ・今後も継続して公金運用先金融機関の財務状況の分析依頼を行い、会計士の専門的見地からの助言を受けながら公金の運用を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	3 財政・資産				主管課	財政課 水道業務課				
施策	③ 財政健全化の推進									
改革手段	2 経営基盤の強化									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	30				
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
4		預金の効率的な運用	定期預金との運用比較を行い、債券運用を検討・実施する。	>>>&						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・定期預金との運用比較を行い、債券運用を検討・実施する。				
取組内容	【取組中】 ・基金の運用において、定期預金との運用比較を行いつつ、昨今の金利情勢を踏まえ、「豊川市公金の保管、管理及び運用基準」の一部改正を検討した。また、現状の債権運用に関する問題点を解消するため、「豊川市基金債券運用方針」の一部改正を実施した。				
取組による効果	・自主財源の確保ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・昨今の金利情勢を踏まえ、債券の入れ換えや購入する債券の拡大等、「豊川市公金の保管、管理及び運用基準」の一部改正の検討を行った。また、「豊川市債券運用方針」の一部改正を実施し、現状の債券運用に関する問題点を解消することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・債券運用期間の超長期対応や購入可能債券の拡大など、安全性を前提とした運用をする中で最大限の経済性を発揮できるよう取り組んできたが、今後は借入額との相殺にも配慮しながら適正な運用に努める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・「豊川市公金の保管、管理及び運用基準」に基づき、運用メリットが見込まれる場合は、今後も運用を実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		3 財政・資産				主管課	財政課			
施策		③ 財政健全化の推進								
改革手段		3 予算編成の見直し								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	31			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1		部枠配分項目の見直し	枠配分項目の見直しにより、真に必要な事業に予算配分する。	>>>>>>>>>>>>>>>				・より適切な予算配分の実現	財政課	
				随時見直し						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ 枠配分項目の見直しにより、真に必要な事業に予算配分する。				
取組内容	【取組中】 ・ 予算編成方針における枠配分項目決定時に、前年度予算編成時の問題点などを考慮し、時点修正を実施した。 ・ 一般財源要求限度額の設定では、通常枠の前年度当初予算に対する乗率を0.95とするも、労務単価の上昇等を考慮し、抑制枠の乗率は1.00とした。				
取組による効果	・ 予算編成方針における枠配分項目の見直しにより、適切な予算配分の実現につながった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ 枠対象経費については、一般財源要求限度額の範囲内で各課からの予算要求を実施できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・予算総額における枠配分対象額の比率が低く、枠配分効果が限定的となっている。現状以上の効果を出すためには、配分項目の拡大など時点修正以上の見直しが必要である。
今後の具体的な取組予定	・枠配分項目の時点修正を継続しつつ、枠配分方式自体の見直しを今後検討する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		3 財政・資産				主管課	財産管理課			
施策		④ 公有財産の最適化								
改革手段		1 公共施設の長寿命化の推進								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	32			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1		公共施設の長寿命化の推進	公共施設に係る経費の最小化や施設効用の最大化を図る経営管理の手法であるファシリティマネジメント*を導入する。					・経費の最小化、効用の最大化 ・支出予算の平準化	財産管理課	
			・予防保全、計画保全の実施 ・整備量の効率化、平準化に向けた予算編成						関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・小坂井地域交流会館（仮称）実施設計に基づき引続き建設工事に取り組む。 ・劣化調査を実施し、その調査結果を基に工事優先度を作成する。また、工事優先度から改修工事等として予算編成を行う。				
取組内容	【取組中】 ・地域住民の要望等を取り入れた小坂井地域交流会館（仮称）実施設計の内容に基づき、建設工事に取り組んだ。 ・劣化調査は、対象施設273棟の調査を完了（延実施数496棟）し、その調査結果を基に工事優先度を作成し、35箇所の改修工事等として約25.5億円の予算編成を行った。				
取組による効果	・地域住民の要望等を取り入れた小坂井地域交流会館（仮称）の建物を、令和3年1月に完成することができた。 ・劣化調査や工事優先度の作成を通じて、施設の日常管理や事後保全から予防保全に対する職員の意識が向上した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・地域住民の要望等を取り入れた小坂井地域交流会館（仮称）の建物を、令和3年1月に完成することができたため、小坂井地域交流会館（仮称）の建設工事は、目標どおりの効果達成度とした。 ・各課の要望等に捉われず劣化調査に基づいた結果から工事優先度の高い施設の改修工事等の予算編成を行ったため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・平準化に向けた予算編成を行ううえで、予防保全や計画保全として取組む工事等の実施時期の調整を行う必要がある。
今後の具体的な取組予定	・小坂井地域交流会館（仮称）実施設計に基づき引続き建設工事に取り組む。 ・劣化調査を実施し、その調査結果を基に工事優先度を作成する。また、工事優先度から改修工事等として予算編成を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	3 財政・資産				主管課	企画政策課				
施策	④ 公有財産の最適化									
改革手段	2 施設の見直し及び処分									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	33				
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		公共施設の 広域利用推 進	同種の複数施設 と他市町村の施 設とを相互利用 して本市の施設 のあり方を見直 す。					・経費の削減	企画政策課	
				実施方法の構築・運用					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ファシリティマネジメントと連携しつつ施設のあり方を見直すとともに、他市町村との施設相互利用について、検討を継続する。				
取組内容	【取組開始】 ・他市町村との施設相互利用について、東三河地域に在住・在学の小中学生に配布されている「ほの国パスポート」を活用し、近隣市のプール等の公共施設の相互利用を行った。				
取組による効果	・施設に係る運営及び維持経費の削減が見込まれる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・老朽化した市民プールを閉鎖した後も、小中学生に配布されている「ほの国パスポート」を活用することで、プール等の東三河地域の公共施設を相互に利用することができ、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・本市のファシリティマネジメントの取組みとあわせて、今後の施設のあり方について検討を実施したうえで広域的な調整を行う必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ファシリティマネジメントと連携しつつ施設のあり方を見直すとともに、他市町村との施設相互利用を引き続き実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	3	財政・資産	主管課	建築課
施策	④	公有財産の最適化		
改革手段	3	保有財産などの利活用の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	34

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		老朽化した市営住宅の整理統合	老朽化している市営住宅から入居者を既設住宅へ移転させ、住宅を廃止する。	>>>>>>>>>>>>>>>>>> 旧音羽町・旧御津町内の住宅入所者の移転				・市営住宅入居者の安全確保 ・経費の削減	建築課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ 萩住宅入居者については、引き続き訪問等を行い、令和3年度までに残りの入居者の移転を完了させるとともに、入居者が退去した住棟について順次解体する。移転が完了した、みなと住宅の住棟を解体する。				
取組内容	【取組中】 ・ 入居者を対象に調査を行い、移転先の希望や移転時期などを調整し、条件があったところから順次移転を行った。 ・ 戸別訪問等を行い、移転に向けての相談を行った。				
取組による効果	・ 令和2年度にみなと住宅B・C棟解体工事及び萩住宅2・4・10・12棟解体工事を施工した。 ・ 令和元年度までに富士見台住宅7戸中7戸、みなと住宅9戸中9戸、萩住宅22戸中6戸の移転を完了させた。令和2年度は萩住宅で新たに8人の移転が完了した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ 移転が完了したみなと住宅及び萩住宅の解体工事が完了した。萩住宅も移転事業を開始した際の対象戸数22戸中14戸（63.63％）の移転が完了し、令和3年度の移転完了に向けて目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・ 本人の個人的な理由等で移転の交渉が難航している入居者がいる。
今後の具体的な取組予定	・ 入居者に対し、引き続き訪問等を行い、令和3年度までに残りの入居者の移転を完了させるとともに、入居者が退去した住棟について順次解体する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	3	財政・資産	主管課	財政課
施策	④	公有財産の最適化		
改革手段	3	保有財産などの利活用の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	34

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
3		借地の返還・買取	引き続き借用するか、返還するか、購入するかを再検討する。	>>>>>>>>>>>>>>				・借地料の削減	財政課	
				取組実施					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き借用するか、返還するか、購入するかを再検討する。				
取組内容	【取組中】 ・平成30年度以降の借地料の見直しのため、担当課ヒアリング等を経て、引き続き借用する以外の方向性として「①令和2年度までに実施を見込むもの」「②長期的な視点で実施を見込むもの」「③今後の方向性等を検討したもの」の3つの方向性を得ることができた。				
取組による効果	・借地料の削減が期待される。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・土地所有者との交渉や県の事業進捗に左右されるなど、外的要因により進捗が異なるものの、一定の方向性を示すことで、今後も引き続きゴールを意識して取り組むことができるようになったため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・土地所有者との交渉や県の事業進捗などの外的要因に呼応して進めるとともに、ファシリティマネジメント推進事業において策定される各計画にも配慮して事業を実施していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も検討結果に基づいて関係者と調整実施していく。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	3	財政・資産	主管課	水道整備課
施策	④	公有財産の最適化		
改革手段	3	保有財産などの利活用の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	34

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
4		水道施設の統廃合	効率的な施設利用を図るため、施設の統合・廃止を行う。	>>>>>>>>>>>>>>				- 経費の削減 - 水道水の安定供給	水道整備課	
				各施設の統合・廃止						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ 上千両ポンプ所の移設工事を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・ 入札不調のため、移設工事を次年度に延期した。				
取組による効果	・ 移設工事完了後、順次老朽化した施設の廃止を行い経費を削減できる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	1点	計画に至らない進捗	効果達成度評価点	1点	目標に至らない効果達成
取組に対する自己評価	・ 上千両ポンプ所移設工事を次年度へ延期としたため、目標に至らない効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 廃止した施設の撤去を計画的に進める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ 老朽化施設を廃止する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	3	財政・資産	主管課	財産管理課
施策	④	公有財産の最適化		
改革手段	4	維持管理コストの見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	35

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1		電力自由化による電力契約の変更	電力の自由化により、安価な電力へ切り替える。	>>>>>>>>>>>>>>>				・電気料金の削減【51,582千円減】	財産管理課	
				供給先の切り替え、検証						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ 現契約を継続更新するか新規入札を行うか、電力情勢等を勘案したうえで検討する。				
取組内容	【取組中】 ・ 新電力事業者との調整により、令和2年度以降もメリットを出すため、中部電力と比較し、年間71,284千円の電気料金を削減した。				
取組による効果	・ 令和2年度の実績については基本料金単価を見直し、前年度と比べ年間19,702千円の削減となり、削減効果が表れた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	51,582		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	71,284	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	3点	目標を超える効果達成
取組に対する自己評価	・ 基本料金単価を見直すことにより前年度と比べ19,702千円削減し、中部電力と比較し、年間71,284千円の削減ができたため、目標を超える効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・今後、電力事情が大きく変化していくことも予想されるため、随時、電力情勢を注視していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・現契約を継続更新するか新規入札を行うか、電力情勢等を勘案したうえで検討する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	環境課
施策	④ 公有財産の最適化		
改革手段	4 維持管理コストの見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	35

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		再生可能エネルギーや新エネルギー・省エネ設備の導入	太陽光発電システムや蓄電池などの導入、LED照明設備への変更を行う。	>>>>>>>>>>>>>>>				・節電による経費の削減 ・CO2排出抑制	環境課 関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き、新設、建替、増築にあわせた太陽光発電システムや省エネタイプの照明設備の導入を進める（具体的な計画は未定）。				
取組内容	【取組中】 ・施設の旧型空調設備を省エネルギー型へ更新した。 ・市道及び公園等施設における照明をＬＥＤ化した。 ・小中学校のマンホールトイレ整備時にソーラーランタンを設置した。				
取組による効果	・高効率化した製品（ＬＥＤ照明など）に切り替えることにより、ランニングコストを削減することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・省エネタイプの照明設備(照明灯などのLED化)を導入することにより、消費電力が削減されコスト削減できた。また、高効率化した製品への切替は、将来的なコスト削減が見込まれるため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・元々環境課の施策は環境保全を目的としており、コスト削減は高効率製品を導入することによる付加価値である。太陽光発電設置やLED化については初期投資額がかかるものであり、施設管理者や財政部局等の理解を得られるかという課題が残る。
今後の具体的な取組予定	・照明や空調などの旧型設備を高効率化設備へ切替を啓発していく。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		4 組織・仕組				主管課	財政課			
施策		① トップマネジメントの確立								
改革手段		1 トップマネジメントの確立								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	36			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		経営方針の構築	次年度以降の行政経営に関する方針を明確化し、総合計画実施計画や予算編成等に反映する。	</						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ 現況や推計を踏まえ、次年度以降の行政経営に関する方針を明確化し、総合計画実施計画や予算編成等に反映する。				
取組内容	【取組中】 ・ 令和元年度決算を基準年度とする令和7年度までの財政収支の推計方法を検討し、作成及び各種計画へ反映した。 ・ 令和2年度当初予算を基準年度とする令和7年度までの財政収支の推計方法を検討し、中期財政計画を令和2年8月に策定した。				
取組による効果	・ 財政収支の推計方法を作成し、計画に反映することで、経営方針が構築され、意思決定の明確化が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ 総合計画実施計画の策定など各種計画に反映できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・地方公共団体を取り巻く環境の変化により、財政状況も大きく変わることが予想されるため、毎年度、ローリング方式による見直しが必要である。
今後の具体的な取組予定	・毎年度、ローリング方式による見直しを行い、今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	4 組織・仕組				主管課	行政課				
施策	② 柔軟な組織・権限の見直し									
改革手段	1 組織の見直し									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	37				
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1		組織・機構の改正	現組織の問題点や社会情勢に応じた組織のあり方を検討し、組織体制の見直しを適宜実施する。 現組織の問題点や社会情勢に応じた見直しを適宜実施					・組織の適正化 ・事務効率の向上	行政課 関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各課における問題点、課題及び組織改正の必要性について把握に努め、必要に応じて組織改正を行う。				
取組内容	【取組中】 ・令和3年度から2係減少し、13部49課108係 4 支所 1 室の組織とした。 ・保育課管理係を施設管理係と経営支援係に分割し、同課保育係を保育利用係に変更した。 ・下水管理課排水設備係を廃止した。 ・会計課管理係及び出納係の2係制を廃止し、担当制を導入した。				
取組による効果	・市内保育園を取り巻く課題に対して、業務分担を明確化し、効率的かつ安定的に対応することができる。 ・排水設備業務の包括民間委託を進めるとともに、一部の業務を管理係及び下水整備課へ移管することにより、効果的な推進を図ることができる。 ・職員間の協力体制の強化を図るとともに、業務継続について柔軟な対応が可能な職場環境を整備することができる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・事務事業の内容を踏まえ、必要に応じた組織・機構の改正を実施することにより、組織の適正化が図られる見込みであるため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・地域主権改革や権限移譲による事務事業の増加への対応など本市を取り巻く環境の変化や今日的な行政課題に対応できる組織改正や第6次定員適正化計画に連動した組織改正を行う必要がある。
今後の具体的な取組予定	・豊川市行政経営改革プラン2025に基づき、各課に対して組織改正についての調査を実施し、各課における問題点、課題の把握に努め、必要に応じた組織改正に取り組む。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	4 組織・仕組				主管課	人事課
施策	② 柔軟な組織・権限の見直し					
改革手段	1 組織の見直し					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	37

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
3		横断的組織の拡充・整備	政策研究活動や庁内プロジェクトといった横断した組織を拡充・整備する。					- 課題対応の迅速化 - 困難課題への対応強化	人事課	
				グループによる困難課題解決の調査・研究					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き、「政策実現調査・研究活動支援制度」を令和2年度も実施する。				
取組内容	【取組中】 ・「政策実現調査・研究活動支援制度」の周知を行ったが、新型コロナウイルスの感染リスクを避けるため、1件も応募がなかった。				
取組による効果	・未実施のため、効果は得られなかった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	1点	目標に至らない効果達成
取組に対する自己評価	・令和2年度は制度の周知は行ったが、新型コロナウイルス感染リスクを避けるため応募がなかったため、目標に至らない効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・「政策実現調査・研究活動支援制度」が活用されるよう、効果的に周知を行う必要がある。 ・新型コロナウイルス感染状況の終息の見通しが立たないため、制度の活用数は低迷すると思われる。
今後の具体的な取組予定	・引き続き、「政策実現調査・研究活動支援制度」を令和3年度も実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	4 組織・仕組	主管課	行政課
施策	② 柔軟な組織・権限の見直し		
改革手段	2 外郭団体の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	38

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1		外郭団体の見直し	外郭団体の見直し実施方針に基づき、外郭団体を見直す。	>>>>>>>>>>>>>>				- 経費の削減 - 業務の最適化	行政課	
				方針に基づく見直し実施					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も現在の取組みを継続する。				
取組内容	【取組中】 ・外郭団体の見直しを図ることを目的として、引き続き外郭団体の見直し実施方針に基づき、外郭団体の概要整理票を作成し、財務状況及び経営改善行程を市ホームページで公開した。 【URL】 http://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/gyoseiunei/gyoseikaikaku/gaikakudantaiminaosi.html 対象の外郭団体は以下のとおり。 ・公益財団法人豊川市国際交流協会 ・公益社団法人豊川市シルバー人材センター ・公益社団法人豊川文化協会 ・株式会社本宮 ・豊川市開発ビル株式会社 ・豊川市土地開発公社 ・社会福祉法人豊川市社会福祉協議会 ・社会福祉法人豊川市保育協会 ・豊川市施設管理協会 ・豊川市観光協会				
取組による効果	・外郭団体の自立性の確保とともに、外郭団体の見直しに係る具体的な経営改善計画を策定し、適正な関係の構築を維持したうえで見直しを進めることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・概要整理票を作成し各団体の経営改善表を作成することにより、外郭団体の経営状況の改善を図ることができたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・外郭団体の見直しに係る具体的な経営改善計画を策定し、適正な関係の構築を維持したうえで見直しを進めるために、取組みを継続していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も外郭団体の財務状況の公開や予算編成時に経営改善の検討を行うなどの取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		4 組織・仕組				主管課	財政課			
施策		③ マネジメントサイクルの確立								
改革手段		1 事業実施決定方法の見直し								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	39			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		予算編成方法の見直し	予算編成の実施方法を実施計画策定の見直しや評価の実施などにあわせて見直す。	>>>						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・企画、予算権限などの一部を各部に移譲する。				
取組内容	【取組中】 ・予算編成方針作成時に予算権限の移譲（枠配分項目の見直し等）について検討した。 ・ファシリティマネジメント関連事業における予算権限移譲について、予算要求や査定時にFMの結果を反映した予算編成を実施した。				
取組による効果	・意思決定力の強化が図られた。 ・意思決定過程の明確化が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・予算編成方針作成時に予算権限の移譲（枠配分項目の見直し等）について検討したこと及びFM関連事業における予算権限移譲について、予算要求や査定時にFMの結果を反映することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・他部署との調整（権限移譲の依頼・受入）が必要である。 ・枠配分方式については一定の効果が出ているが、現状以上の効果を出すためには、さらなる見直しが必要である。
今後の具体的な取組予定	・権限移譲可能な対象費目の検討、メリット・デメリットの検証を予算編成方針作成時に実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	4 組織・仕組	主管課	企画政策課
施策	③ マネジメントサイクルの確立		
改革手段	1 事業実施決定方法の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	39

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
3		各種計画の策定や進捗管理の明確化	各課などで管理する計画の策定方法や進捗管理をガイドラインに基づき明確化する。	>>>>>>>>>>>>>>>				- 政策決定の明確化 - 管理体制の強化	企画政策課	
				ガイドラインに基づく取組実施					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ガイドラインに基づき計画が策定されるよう、引き続き職員に周知する。				
取組内容	【取組中】 ・豊川市各種計画策定等ガイドラインに基づき、計画を策定するよう周知した。				
取組による効果	・計画策定方法の明確化・効率化を図るとともに、実効性の高い計画の策定を図ることができる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・計画策定や進捗管理の基準について豊川市各種計画策定等ガイドラインによって明確化し、周知できたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・豊川市各種計画策定等ガイドラインに基づき計画が策定されるよう、引き続き職員に周知することが必要である。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	4	組織・仕組	主管課	企画政策課
施策	③	マネジメントサイクルの確立		
改革手段	1	事業実施決定方法の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	39

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
4		職員や各課からの意見聴取の推進	職員や市の各組織に対し、一定のルールのもと事業や制度などの意見を求め、反映する。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・実施判断の明確化 ・実施判断力の強化	企画政策課	
				各種計画に対する意見募集の随時実施					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各課の計画等について庁内から広く意見が聴取できるよう、引き続き職員に制度を周知する。				
取組内容	【取組中】 ・「庁内パブリックコメント制度」を運用することで、第6次総合計画の改訂や第3都市計画マスタープランといった各種計画の策定にあたり職員や各課からの意見聴取を行った。				
取組による効果	・政策等の質の向上が図られるとともに、職員間の相互協力の気運が高まる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・取組みの実施により、本制度の利用に限らず、各課の計画等について庁内へ広く意見を募集することが浸透してきたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・各課の計画等について庁内から広く意見が聴取できるよう、引き続き職員に制度を周知することが必要である。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	4 組織・仕組	主管課	企画政策課
施策	③ マネジメントサイクルの確立		
改革手段	2 評価手法の充実		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	40

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1		内部評価の実施	事業の所管部課が行う自己評価や職員間で行う庁内における評価といった事業の内部評価を実施する。					・事業の効率的な展開	企画政策課	
				内部評価の実施					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各課において、指標を重視した事業の実施に取り組むよう引き続き働きかけを行っていく。				
取組内容	【取組中】 ・実施計画の策定において事業の所管課が作成する実施計画書には必要性、有効性、効率性といった内部評価に必要な視点が事前に示されている。事業の所管課は実施計画書の作成を通し、事業の内部評価を行った。				
取組による効果	・庁内評価による事業の磨き上げと効率的な事業展開が期待できる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・実施計画書作成にあたっては、必要性、有効性、効率性といった3つの視点による内部評価を経たうえで、行うこととしている。評価結果に基づき必要な対応や事業決定を行うことで、期待される効果が得られているので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・事業の効率的な展開を図るために、必要性を始めとしたさまざまな側面、特に客観的な指標に基いた検討が必要である。
今後の具体的な取組予定	・各課において、指標を重視した事業の実施に取り組むよう引き続き働きかけを行っていく。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		4 組織・仕組				主管課	企画政策課			
施策		③ マネジメントサイクルの確立								
改革手段		2 評価手法の充実								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	40			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		外部評価の実施	市民などによる事前・事後の事業評価を実施する。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・改善の推進 ・事業実施選択の促進 ・事業の質の向上 ・意思決定の明確化	企画政策課	
				外部評価の実施					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も総合計画実施事業のうち、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲載する事業について、学識経験者等で構成するまち・ひと・しごと総合戦略会議で外部ヒアリングを実施する。				
取組内容	【取組中】 ・総合計画実施計画事業のうち、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲載する事業について、重要業績評価指標（K P I）の達成度、所管課による自己評価を踏まえ、総合戦略会議の評価を受けた。				
取組による効果	・市民などからの意見により、事業内容の質の向上や改善が期待できる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・令和元年度に実施したまち・ひと・しごと創生総合戦略に係る事業について、外部の目線による意見交換および評価を実施したため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・引き続き様々な分野で外部評価が実施できるようにする必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も総合計画実施事業のうち、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲載する事業について、まち・ひと・しごと総合戦略会議で外部ヒアリングを実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		4 組織・仕組				主管課	秘書課			
施策		④ マーケティング機能の強化								
改革手段		1 マーケティング機能の強化								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	41			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1		電子市政モニター制度の活用	電子行政モニター制度を事業検討過程の一環として活用する。	>>>&						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・モニターの募集にあたっては、広報紙、ホームページ、記者発表等を行い、幅広い年代に呼びかけるとともに、本制度を活用する課等においては、アンケート項目の精査等を行い、市政に繋げるよう働きかける。				
取組内容	【取組中】 ・対象者100人に対し、年6回のアンケートを実施した。①町内会活動（回答率：94%）②多文化共生（回答率：96%）③第6次総合計画（回答率：96%）④広報（回答率：92%）⑤ごみの減量化（回答率：93%）⑥議会だより（回答率：89%）				
取組による効果	・各施策や事業における市民ニーズ、理解度・認知度を把握することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・6つのテーマの平均回答率は93%と非常に高く、担当課へのフィードバックと合わせ、ホームページを通してアンケート結果を市民に公開できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・モニター応募者の年齢層に偏りがあるため、幅広い年代へ周知する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・モニターの募集にあたり、広報紙、ホームページ、記者発表等を行い、幅広い年代に呼びかける。 ・本制度を活用する課等においては、アンケート項目の精査等を行い、市政に繋げるよう働きかける。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	4	組織・仕組	主管課	企画政策課
施策	④	マーケティング機能の強化		
改革手段	1	マーケティング機能の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	41

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				令和元	2	3	4			
2		アンケート調査などの実施方法の構築	事業ごとに実施するアンケート調査などの効果的な実施方法を構築する。	・・・>>>>>>>>>>>>>>>>				・実施判断の明確化 ・実施判断力の強化 ・事務の効率化	企画政策課	
			実施方法の検討	実施方法の構築・運用					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・様々な効果的な実施方法について検討を実施する。				
取組内容	【取組開始】 ・「各種計画策定等のガイドライン」では、現状分析の手法として市民アンケートを位置付けている。 ・総合計画実施計画の策定に際して、ワーキングにより官民連携の手法を用いることにより、市民の意向等を把握することができた。				
取組による効果	・各種計画の策定等に際し、アンケート調査や官民連携ワーキングなど多様なマーケティング手法を構築することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・各種計画策定の際にアンケート調査や官民連携ワーキングを取り入れることにより、データ把握に係る多様な調査手法を構築することができたため、目標どおりの効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・情報技術の進化とともに、新たなツールが提供されることが予想されるため、より効果的であると思われる手法についても引き続き調査・検討が必要であると思われる。
今後の具体的な取組予定	・IT技術を利用したアンケート調査など市民の意向把握の効果的な実施方法について検討を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		5 人材・品質				主管課	人事課			
施策		① 少数精鋭の推進								
改革手段		1 人材育成の推進								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	42			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		職員の専門性の向上策の実施	資格取得補助制度を推進する。	>>&						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・継続して、スペシャリスト養成推進費補助金による支援や、市町村アカデミー等の派遣研修により、職員の専門性の向上を図っていく。				
取組内容	【取組中】 ・スペシャリスト養成推進費補助金を継続して実施し、延6名の支援を行った。 ・市町村アカデミー等派遣研修については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催中止や参加を見送ったものがあった。				
取組による効果	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、参加することができなかった研修があったが、一定程度職員の専門性の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	1点	目標に至らない効果達成
取組に対する自己評価	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、多くの研修に参加できず、効果が限定的であったため、目標に至らない効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・行政需要が高度・多様化するなか、ますます職員の専門性の向上を図る必要がある。
今後の具体的な取組予定	・継続して、スペシャリスト養成推進費補助金による支援や、市町村アカデミー等の派遣研修により、職員の専門性の向上を図っていく。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	5 人材・品質				主管課	人事課				
施策	① 少数精鋭の推進									
改革手段	1 人材育成の推進									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	42				
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
3		学習的職場風土の醸成策の実施	庁内インターンシップ*やオープンカレッジ*形式の自主研修を実施する。	>>>&						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各課の協力を仰ぎつつ、庁内インターンシップ及び庁内オープンカレッジを継続して実施する。				
取組内容	【取組中】 ・庁内インターンシップを実施し、33名（採用2年目）が受講した。 ・庁内オープンカレッジのメニュー（5講座）の周知は行ったが、新型コロナウイルスの感染リスクが懸念されたため、1講座のみの開催となった（書面開催）。				
取組による効果	・庁内インターンシップについては、他部署の業務を経験・知ること、自身のキャリアプランを考える機会とすることができた。 ・庁内オープンカレッジについては、1講座のみの開催となったため、学習風土の醸成という効果は限定的であった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	1点	目標に至らない効果達成
取組に対する自己評価	・庁内インターンシップの実施により、キャリアプラン形成機会の醸成を図ることができた。しかし、庁内オープンカレッジについて、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、一部の講座しか実施できず、効果が限定的であったため、目標に至らない効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 庁内インターンシップについては、各課の受入協力が必要である。 ・ 庁内オープンカレッジについては、メニューの充実に各課の協力が必要である。
今後の具体的な取組予定	・ 各課の協力を仰ぎつつ、庁内インターンシップ及び庁内オープンカレッジを継続して実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		5 人材・品質				主管課	人事課			
施策		① 少数精鋭の推進								
改革手段		1 人材育成の推進								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	42			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
4		人事評価制度の適切な運用	人事評価の評価結果を各職員に確実に伝達して人材育成につなげる。	>>>>>>>>>>>>>>>				・人材育成の向上	人事課	
				研修、評価を随時実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・人事評価制度マニュアルを令和2年度版に改訂し、適切な運用がなされるよう周知する。 ・新任係長級を対象に人事評価制度研修を引き続き実施する。 ・臨時・非常勤職員（令和2年度から会計年度任用職員）の人事評価を適切に実施する。				
取組内容	【取組中】 ・人事評価制度マニュアルを令和2年度版に改訂し、適切な運用がなされるよう周知をした。 ・新任係長級41名を対象に、人事評価制度研修を実施した（新型コロナウイルス感染拡大の影響で、資料配布のみ）。 ・すべての会計年度任用職員を対象に人事評価を実施した。				
取組による効果	・人事評価制度の適切な運用が行われ、人材育成や人事配置、処遇反映に活用が図られた。 ・会計年度任用職員については、意欲や質の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・人事評価制度マニュアルの周知、人事評価制度研修の実施、会計年度任用職員を対象とした人事評価の実施により、人材育成が図られたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・人材育成のさらなる向上につなげるため、人事評価制度の継続した周知・研修等により、適切な運用を図る必要がある。
今後の具体的な取組予定	・人事評価制度マニュアルを令和3年度版に改訂し、適切な運用がなされるよう周知する。 ・新任係長級を対象に人事評価制度研修を引き続き実施する。 ・会計年度任用職員の人事評価を引き続き実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	1 人材育成の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	43

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
5		上司の人材育成能力の向上策の実施	OJT*推進のためのOJT指導者養成研修*を実施する。部下成長度自己チェックを適性申告書*に盛り込む。					・職員の能力向上	人事課	
				課長補佐級職員を対象に研修実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・継続して、新任課長補佐級を対象としたOJT推進リーダー養成研修を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・新任課長補佐26名を対象にOJT推進リーダー養成研修を実施した（新型コロナウイルス感染拡大の影響で、書類開催とした。）。 ※書類開催…受講者がOJTシートを作成し、講師がその内容を添削した。				
取組による効果	・OJT推進リーダー養成研修を行うことで、OJTに関する理解を深め、職場での実践スキルの習得を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・OJT推進リーダー養成研修の実施により、職員の能力向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・職場のO J T推進のために、継続して実施していくことが必要である。
今後の具体的な取組予定	・継続して、新任課長補佐級を対象としたO J T推進リーダー養成研修を実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	5 人材・品質				主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進					
改革手段	1 人材育成の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	43

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
6		学び続ける意欲の保持・向上策の実施	目標管理シート*や業績評価シート*により、自己啓発の目標を明確にする。	>>>						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・目標管理シート及び業績評価シートに自己啓発目標に関する項目を引き続き設ける。 ・自己啓発を支援するためのスペシャリスト養成推進費補助金を継続実施する。				
取組内容	【取組中】 ・目標管理シート及び業績評価シートに自己啓発目標に関する項目を引き続き設けた。 ・自己啓発を支援するためのスペシャリスト養成推進費補助金を実施し、日商簿記や宅地建物取引士など延6名に対し支援を行った。				
取組による効果	・それぞれの取組実施により、自己啓発意欲の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・目標管理シート及び業績評価シートに自己啓発目標に関する項目の記載を行い、スペシャリスト養成推進費補助金による支援を行ったことで、自己啓発意欲の向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・職員の自己啓発意識の維持・向上のために、継続して実施できるようにすることが必要である。
今後の具体的な取組予定	・目標管理シート及び業績評価シートに自己啓発目標に関する項目を引き続き設ける。 ・自己啓発を支援するためのスペシャリスト養成推進費補助金を継続実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	1 人材育成の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	43

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				令和元	2	3	4			
7		信頼される職員づくりの実施	法令遵守や情報セキュリティ・個人情報保護を徹底する。					・情報セキュリティ・個人情報保護レベルの向上 ・職員の意識向上	人事課	
				・職員研修における意識づけ ・情報セキュリティ・個人情報保護研修等の実施 ・内部・外部監査の実施					情報システム課 行政課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・内容や実施方法の見直しを図りながら、引き続き現在の啓発、研修などを実施する。				
取組内容	【取組中】 ・新規採用職員及び新任係長級職員に対し公務員倫理に関する研修を実施し、全職員への通知啓発を実施した。 ・新規採用職員情報セキュリティ研修を実施した。				
取組による効果	・通知による啓発、研修を実施することにより、法令遵守に関する職員の知識と意識の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・取組内容の実施により法令遵守に対する意識の向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・職員の法令遵守、綱紀肅正意識のさらなる向上を図るために、事業の継続が必要である。
今後の具体的な取組予定	・内容や実施方法の見直しを図りながら、引き続き現在の啓発、研修などを実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		5 人材・品質				主管課	人事課			
施策		① 少数精鋭の推進								
改革手段		2 定員適正化の推進								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	44			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		優秀な人材 の確保	応募者の増加に 努め、職員採用 試験のあり方を 創意工夫する。	>>>						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・受験者の質・量確保のため、総合検査（SPI）方式の試験や民間経験者対象の採用試験を継続実施する。 ・大学等へのPR、公務員セミナーの開催（本市主催）や積極的なインターンシップの受入を継続実施する。				
取組内容	【取組中】 ・多くの民間企業が利用している総合検査（SPI）を導入した採用試験を継続実施した。 ・本市採用試験の受験が見込まれる大学（愛大、愛教大、南山大）の就職説明会等へ赴き（愛大及び南山大についてはオンライン開催）、本市のPRを行った。 ・公務員セミナーを本市主催で実施（オンライン開催）し、本市の仕事を紹介した。 ・インターンシップについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、中止とした。 ・採用試験の一般方式とSPI方式ともに応募者の全員面接を行うなど、人物重視の採用試験を実施した。				
取組による効果	・近年、採用試験の応募者数が低迷するなか、上記取組により、一定の応募者の確保に繋がった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・一般方式とSPI方式を合わせた採用予定人数67名（事務25、土木技師5、建築技師3、保健師4、消防8、保育士22）に対し、採用者63名（事務24、土木技師4、建築技師1、保健師4、消防7、保育士23）であった。一般方式とSPI方式については、採用予定人数に満たなかったが、民間経験者等を対象とした採用試験を実施するなど、結果として採用予定者数を確保することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・行政需要を適切に把握するとともに、令和2年度に策定した第6次豊川市定員適正化計画に基づき、適正な職員数を確保していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・受験者の質・量確保のため、総合検査（SPI）方式の試験や民間経験者対象の採用試験を継続実施する。 ・大学等へのPR、公務員セミナー（本市主催）を継続実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	5 人材・品質				主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進					
改革手段	2 定員適正化の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	44

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				令和元	2	3	4			
3		多様な採用 形態の活用	任期付職員*、再任用職員、臨時・非常勤職員のそれぞれの特徴に合った配置を行う。	>>&						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ 継続し、再任用職員、会計年度任用職員及び育児休業代替任期付職員を有効に活用する。				
取組内容	【取組中】 ・ 職員の負担軽減等に対応するため、再任用職員、会計年度任用職員を活用した。 ・ 育児休業によるマンパワーの不足を補うため、育児休業代替任期付職員（5名）を引き続き任用した。				
取組による効果	・ 職員の負担軽減を図ることができた。 ・ 育児休業代替任期付職員の活用により、育児休業によるマンパワーの不足を補うことができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ 再任用職員、会計年度任用職員及び育児休業代替任期付職員の活用により、職員の負担軽減とマンパワー不足を補うことができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・行政需要の増加やワーク・ライフ・バランスの一層の推進に伴う仕事のあり方の変化に対応するため、引続き多様な採用形態を活用する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引続き、再任用職員、会計年度任用職員及び育児休業代替任期付職員を有効に活用する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	3 政策形成・分析能力の向上		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	45

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1		職員の自律的な能力開発	能力診断ツールによる自己チェックとキャリアプラン*を作成する。					・政策立案能力の向上	人事課	
			・政策実現に向けた調査・研究活動への支援 ・管理職の政策提言制度の実施 ・適性申告書*や業績評価*シートの活用							

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・自身のキャリアプランについて考える機会とするため、適性申告書を活用するとともに、一般職員前期研修及び主任研修において、マイプランチェックシート等の活用を図る。				
取組内容	【取組中】 ・係長級以下の職員を対象に適性申告書を実施し、主任研修（新型コロナウイルス感染拡大の影響で資料配布のみ）においてマイプランチェックシートを活用した。 ・一般職員前期研修において、「豊川市役所ジョブローテーション指針」について解説し、自身のキャリアプランを意識するための一助とした。				
取組による効果	・自身のキャリア形成に対する意識の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・上記の取組みを行ったことで、自身のキャリア形成に対する意識の向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 職員の自律的な能力開発を進めるため、上記取組を継続する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ 自身のキャリアプランについて考える機会とするため、適性申告書を活用するとともに、一般職員前期研修及び主任研修において、マイプランチェックシート等の活用を図る。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	5 人材・品質						主管課	情報システム課
施策	② 窓口サービスの向上							
改革手段	1 より身近で便利で快適な窓口サービスの実現							
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組							該当ページ	46

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		より身近で 便利で快適 な窓口サー ビスの実現	窓口でのコミュニ ケーションを円滑 にするためにタブ レット端末の活用 を推進する。	>>>>>>>>>>>>>>				・市民サービスの 向上	情報システム課 関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・無線AP等タブレット端末を利用するインフラの需要を把握して、安定運用を図る。				
取組内容	【取組中】 ・令和2年度末に本庁舎、北庁舎及び4支所の執務室のあるフロア全てに業務用Wi-Fiを設置した。タブレット端末等の利用環境構築について一定の目途が立った。				
取組による効果	・Wi-Fi環境の構築により、タブレット端末等の利活用の機会を増やすことが可能となった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・業務用Wi-Fi環境について、新型コロナウイルス感染症対策もあり、本庁舎北庁舎の未整備フロア及び4支所に整備・構築できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・Wi-Fi環境の安定化とセキュリティ対策を継続する必要がある。 ・タブレット端末等機器の管理・運用は所管課対応であるため、情報システム課としては今後には取り組まない。
今後の具体的な取組予定	・Wi-Fi環境の充実、セキュリティ対策を図りつつ、テレワーク促進や働き方改革を推進していく。 ・タブレット端末等の利活用促進は所管課対応とする。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	5 人材・品質				主管課	市民課
施策	② 窓口サービスの向上					
改革手段	1 より身近で便利で快適な窓口サービスの実現					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	46

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				令和元	2	3	4			
3		住民票等の 証明書発行 業務の見直し	個人番号カードを使って、コンビニエンスストアで住民票などの証明書の交付を行う。	>>>						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・マイナンバーカード交付時、住所異動届出時、郵送による証明書請求返信時に、コンビニ交付のパンフレットを引き続き配布するとともに、ホームページやイベントなどで手続きの仕方を分かりやすく説明し、周知していく。 ・庁舎内の交付端末機設置について検討するため、他市町村調査を行う。				
取組内容	【取組中】 ・マイナンバーカード交付時、住所異動届出時にカラー印刷したパンフレットを配布した。また、ホームページに「コンビニ交付をご利用ください」として掲載した。イベントでは、おいでん祭が中止となったため、成人式でパンフレットを配布した。 ・市民課フロアーにパンフレットやリーフレットを設置した。 ・庁舎内の交付端末機設置について検討するため、他市町村調査を行った。				
取組による効果	・令和2年度のコンビニ交付利用証明書の発行件数の実績は、住民票2,529件、印鑑証明書1,751件、戸籍謄抄本513件、戸籍の附票76件、計4,869件で、前年度より2,590件増加した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・マイナンバーカード交付時などに利便性を周知したことや、マイナンバーカード取得者の増加に伴い、コンビニ交付を利用する住民が増加し、前年度より発行件数が倍増したため、目標どおりの効果達成度とした。 ・庁舎内の交付端末機の設置について検討するため、他市町村調査を行ったが、どの市町村も利用率が低く、設置は見送ることにした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・コンビニ交付手続きは難しい、手間がかかるだろう、と考える方もまだ多くいることから、手続きの手軽さやコンビニ交付のメリットをさらにPRしていく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・マイナンバーカード交付時、住所異動届出をした方に対し、パンフレットを引き続き配布する。 ・ホームページに証明書発行手続きの動画を掲載し、わかりやすいコンビニ発行手続きの方法を周知していく。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	5 人材・品質				主管課	人事課
施策	② 窓口サービスの向上					
改革手段	2 職員の接遇能力の向上					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	47

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
1		接遇向上策の実施	「おもてなCityとよかわ」を実施する。	>>>&						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・接遇向上施策である「おもてなCityとよかわ」の充実を検討し、継続実施する。				
取組内容	【取組中】 ・「おもてなCityとよかわ」として、下記の事業を実施した。 おもてなC強化月間、「おもてなC」卓上プレートの設置、「おもてなC」ポスターの掲示、全職員「コンシェルジュ」化の推進、アダプトプログラムの実施、職員の接遇に関する情報共有 ※当初予定していた年替りスキルアップ研修（接遇編）、会計年度任用職員等おもてなし力向上セミナー、とよかわおもてなし講習会については、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、中止とした。				
取組による効果	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で複数の取組みが実施できなかったため、接遇意識の向上に対する効果は限定的であった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	1点	目標に至らない効果達成
取組に対する自己評価	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で複数の研修やセミナーが実施できず、接遇意識の向上に対する効果が限定的であったため、目標に至らない効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・接遇に関してはゴールがないため、継続して実施していくことが必要である。 ・新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで、取組みを実施する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・接遇向上施策である「おもてなCityとよかわ」の充実を検討し、継続実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	情報システム課
施策	③ 行政情報化の推進		
改革手段	1 行政サービスの高度化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	48

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		わかりやすく便利な電子申請の推進	あいち電子申請・届出システム*の活用を推進する。	>>>>>>>>>>>>>>>				- 事務の効率化 - 市民サービスの向上	情報システム課 関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各手続きのオンライン化の状況を調査し、オンライン化が可能な手続きについてはオンライン化するためのフォローを行う。				
取組内容	【取組中】 ・マニュアルの作成により、アンケート等の職員共有様式の利用は進んだ。 ・各課のオンライン化の状況について調査を行い、本市のオンライン化率が7.9%であることやオンライン化に当たっての課題等の結果を得ることができた。				
取組による効果	・各課のオンライン化の状況調査結果により、各課のオンライン化に向けた課題が見えたため、課題を克服するための支援策を作成に着手した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・市民向けのオンライン手続きを増やすための調査を実施した。 ・システム利用による申請件数の推移は、平成30年度11,338件、令和元年度16,088件、令和2年度33,368件となっており、アンケート等の利用は進んだ。 以上のことから、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・ 市民向けの行政手続のオンライン化を推進する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ 各課の行政手続のオンライン化を推進するため、行政手続オンライン化推進方針（仮称）を作成し、支援策を展開する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・災害発生時に、市民へ情報をわかりやすく、迅速に伝えるため、システム整備を進める。				
取組内容	【取組中】 ・災害発生時に市民へ情報を迅速に伝えるため、豊川市防災情報伝達システムを構築し、防災用屋外スピーカー、市ホームページ、Facebook、Twitterを連携させ、一括で情報発信できるようにした。				
取組による効果	・災害発生時における情報発信機能を強化することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・豊川市防災情報伝達システムを構築し、災害時における情報発信機能を強化することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・市民が情報を収集しやすい環境の整備と合わせ、情報弱者に配慮した発信方法を検討する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・災害発生時に市民へ情報を伝えるために有効な手法について調査し、体制の構築に向けた取り組みを進める。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	5 人材・品質				主管課	情報システム課				
施策	③ 行政情報化の推進									
改革手段	2 行政サービスの効率化									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	49				
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				令和元	2	3	4			
1		住 民 情 報 システムの運用	住民情報関連システムを運用し、即時連携を可能とする。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・市民サービスの向上 ・コストの削減 ・事務処理の効率化 ・大規模災害対策の強化	情報システム課	
				・システムの運用 ・次期システムの検討・導入準備	次期システムの運用					

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ 現行システムが安定して稼働するよう必要となる対策や検討を行いながら、次期システムへの更新に向けた準備を進める。				
取組内容	【取組中】 ・ 令和3年1月から、次期システムへ移行した。システムダウン等、市民サービスに影響する事象の発生はない。				
取組による効果	・ 次期システムを稼働させることができ、これまでと変わらない市民サービスの提供ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ 予定どおり次期システムを稼働し、市民サービスに影響する事象の発生はなかったため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・次期システムの安定稼働と迅速な障害対応を図る必要がある。
今後の具体的な取組予定	・次期システムの安定稼働のため、原課や事業者、他市町村との調整をきめ細やかに実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	情報システム課
施策	③ 行政情報化の推進		
改革手段	2 行政サービスの効率化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	49

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		行政情報システムの運用	行政情報関連システムを運用し、 <u>効率性</u> な行政運営をする。	>>>>>>>>>>>>>>>				- コストの削減 - 事務処理の効率化 - 大規模災害対策の強化	情報システム課 ----- 関係各課	令和5年度に次期システム運用予定

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も継続して安定的に稼働するよう必要な対策及び検討を行う。				
取組内容	【取組中】 ・現行システムについては、トラブルなく安定稼働できた。 ・次期システムへの更新のため、事業者による提案説明会をオンライン開催した。				
取組による効果	・全庁の業務遂行を大きなシステムトラブルなく遂行できた。 ・次期システムへの更新に着手できた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・システムについては安定的に稼働できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 現行システムについては安定稼働を継続する必要がある。 ・ 次期システムへの更新時期について、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和5年度から令和6年度と変更した。
今後の具体的な取組予定	・ 現行システムの安定稼働に努める。 ・ 令和6年度の更新に向け、東三河6市町村共同調達のための協定締結及び令和4年度実施予定のプロポーザル仕様書の完成に取り組む。

具体的取組評価結果票 (令和2年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	情報システム課							
施策	③ 行政情報化の推進									
改革手段	2 行政サービスの効率化									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	49							
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				令和元	2	3	4			
3		AI-OCR・RPAの活用	AI-OCR・RPA を利用する業務の選定及び運用の見直しを行い、定例的・パソコン操作の自動化を進める。	・導入業務の選定 ・操作研修の実施	【AI-OCR】 ・愛知県との共同利用で利用開始 ・追加業務の選定及び導入 【RPA】 ・環境構築、利用開始 ・追加業務の選定及び導入 ・シナリオ等を作成できる職員の育成			・業務の効率化 ・作業の自動化 ・入力ミス等の軽減	情報システム課 関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・RPA及びAI-OCRの導入 ・RPAシナリオ定義、AI-OCR帳票定義の設定支援等 ・RPA及びAI-OCRの利用（各課）				
取組内容	【取組開始】 ・令和2年4月にRPA、同年11月にAI-OCRを稼働できた。 ・RPAシナリオ相談会を月1回程度開催した。 ・RPA及びAI-OCRの操作研修会をそれぞれ1回ずつ開催した。				
取組による効果	・RPA、AI-OCR若しくはRPAとAI-OCRの同時利用により、情報システム課のマイナポイント支援窓口受付票の集計など14業務でシナリオまたは帳票定義を設定することができ、業務の効率化を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・RPA及びAI-OCRの導入及び利用促進について14業務で業務時間を削減することができたため、目標どおりの効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・さらに多くの課、多くの業務でRPA及びAI-OCRを活用する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・シナリオ相談会や操作研修会を引き続き開催するとともに、活用できる業務の掘り起こしに取り組む。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	5 人材・品質				主管課	行政課
施策	④ 業務改善の推進					
改革手段	1 業務改善の意識高揚と改善の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	50

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
2		業務改善を図る人材育成の実施	自由なアイデアを引き出すための人材育成を実施する。	>>						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・職員に対して、T-1グランプリを通して業務改善スキルの共有が図れるように、引続き他課や他市などの業務改善の取組事例等の情報発信を行う。令和3年度以降については、T-1グランプリに代わり、内部統制の推進を図る中で業務改善の取組事例等の情報発信を行う。				
取組内容	【取組中】 ・T-1グランプリの一環として「カイゼン週間」を設定し、他課の業務改善の取組事例について各課に紹介し、業務改善への意識の高揚を図った。				
取組による効果	・他課などの業務改善の取組事例を紹介することにより、職員が身近な視点でカイゼンを考える機会を持つことができ、業務改善意識及び業務改善スキルの向上を図ることができたと考えられる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・T-1グランプリを通して他課などの業務改善の取組事例を紹介することにより、業務改善意識及び業務改善スキルの向上を図る取組みができたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・T-1グランプリで実践した業務改善スキルを実施課の職員だけのものとしないうちに、引き続き業務改善スキルを共有していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・職員に対して、T-1グランプリを通して業務改善スキルの共有が図れるように、引続き他課や他市などの業務改善の取組事例等の情報発信を行う。 ・業務改善の取組事例等の情報発信を行う新たな仕組みを検討する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像		5 人材・品質				主管課	行政課			
施策		④ 業務改善の推進								
改革手段		1 業務改善の意識高揚と改善の推進								
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	50			
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
3		業務スクラップ運動の推進	仕事カイゼンの取組の一つとして業務スクラップ部門を設け、業務スクラップ運動を推進する。	>>>&						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続きT-1グランプリの中で、業務スクラップの取組みを実施し、さらなる業務の効率化を図る。令和3年度以降については、T-1グランプリに代わり、内部統制の推進を図る中で業務の効率化を図る。				
取組内容	【取組中】 ・T-1グランプリの提案書をチェック表として活用し、業務スクラップを取組みの視点として取り入れてT-1グランプリを実施した。				
取組による効果	・T-1グランプリの提案書について、7件の業務スクラップに関する取組みがあり、うち3件が実施完了した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・T-1グランプリの取組みとして業務スクラップを実施することで、下水整備課の下水道の管路情報に関する業務など3件の業務について業務量が軽減され、業務の効率化が図られたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・業務スクラップの割合が全体の約4%と低いため、業務スクラップの推進を継続していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続きT-1グランプリの中で、業務スクラップの取組みを実施し、さらなる業務の効率化を図る。 ・業務の効率化を図る新たな仕組みを検討する。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	行政課
施策	④ 業務改善の推進		
改革手段	1 業務改善の意識高揚と改善の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	50

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
4		内部統制*の推進	業務の有効性及び効率性に関する事務リスクの評価(リスクマネジメント)を実施する。					・職員の業務改善意識の向上 ・業務の効率化 ・法令等の遵守	行政課	
				実施方法の調査・研究 取組実施					関係各課	

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・リスク管理手順書等を作成し、リスク管理の作業内容の整理を行う。 ・職員に向けて内部統制制度の周知を図る。				
取組内容	【取組中】 ・内部統制アドバイザーによる研修を2回実施した。 ・「業務手順の可視化の試行的実施」を行い、17の業務について業務手順書と業務フローを作成した。 ・内部統制の運用に向けた「豊川市におけるリスク管理手順について」及び「リスク管理シート」を策定した。 ・業務手順の可視化の有効性に関する係長職員向け研修会を開催した。				
取組による効果	・内部統制アドバイザーの指導等により、職員が内部統制の重要性を認識し、理解を深めることができた。 ・業務手順の可視化について、対象事務に潜むリスクの識別等を行うための有効な手法であることを確認することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・内部統制アドバイザーによる研修の受講及び業務手順書と業務フローを作成し業務手順の可視化を行い、職員が内部統制の重要性を認識し、理解を深めることができたため目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・引き続き、職員に向けて内部統制の周知を図る必要がある。 ・内部統制の推進方法を検討していく必要がある。特に試行的な運用での課題等について対応する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・内部統制に取り組む姿勢を内外に示す「豊川市内部統制基本方針」を作成する。 ・リスク管理を試行的に実施し、実施状況についての検証を行う。 ・職員に向けて内部統制制度の周知を図る。 ・令和4年度の本格運用に向けての準備を完了させる。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	5 人材・品質				主管課	人事課
施策	④ 業務改善の推進					
改革手段	2 職場環境の向上					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	51

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				令和元	2	3	4			
2		組織目標の共有化の実施	目標管理制度*などを活用して組織目標を共有化する。					- 目標達成による成果の向上 - 役割分担、職員間コミュニケーション、職場の一体感の醸成	人事課	
				目標管理制度の実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・管理職の目標管理制度を実施する。 ・新任課長級及び新任課長補佐級を対象に、目標管理制度研修を実施する。 ・各部、部門の目標を庁内LANに掲示し、組織目標の共有を図る。				
取組内容	【取組中】 ・管理職の目標管理制度を実施した。 ・新任課長級及び新任課長補佐級を対象に、目標管理制度研修を実施（新型コロナウイルス感染拡大の影響で、書類開催とした。）し、29名が参加した。 ※書類開催…受講者が目標管理シートを作成し、講師がその内容を添削した。 ・各部、部門の目標を庁内LANに掲示し、組織目標の共有を図った。				
取組による効果	・目標を明確化することによって、自己コントロール能力、部下育成能力、働く意欲の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・目標管理制度の活用により、職員の能力向上や働く意欲の向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 所属職員全員への組織目標の共有化の徹底を図る必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ 管理職の目標管理制度を実施する。 ・ 新任課長級及び新任課長補佐級を対象に、目標管理制度研修を実施する。 ・ 各部、部門の目標を庁内LANに掲示し、組織目標の共有を図る。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	④ 業務改善の推進		
改革手段	2 職場環境の向上		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	51

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				令和元	2	3	4		関係組織	
3		職員の役割と責任の明確化	目標管理制度・人事評価制度*を推進して、上司と部下の役割分担や業務を担う立場を明らかにする。					- 円滑な事務の推進 - 市民サービスの向上 - 人材育成能力の向上	人事課	
										
				目標管理制度、人事評価制度の実施						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・目標管理制度及び人事評価制度を実施する。 ・階層別研修を実施する。 ・必要に応じて研修体系の見直しを行う。				
取組内容	【取組中】 ・目標管理制度及び人事評価制度を実施した。 ・階層別研修を実施した。 ・必要に応じて研修体系の見直しを行った。				
取組による効果	・役職に応じた責任と役割を明確化し、その役割に必要なとなるスキルの向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・目標管理制度や人事評価制度の周知により、役職に応じて必要となるスキルの向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・役職に応じた責任と役割を明確化し、その役割に必要となるスキルの向上を図るため、継続して実施する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・目標管理制度及び人事評価制度を実施する。 ・階層別研修を実施する。 ・必要に応じて研修体系の見直しを行う。

**具体的取組評価結果票
(令和2年度分)**

将来像	5 人材・品質				主管課	人事課
施策	④ 業務改善の推進					
改革手段	2 職場環境の向上					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	51

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				令和元	2	3	4			
4		ハラスメント防止研修の実施	管理監督職員のハラスメント防止に関する意識の向上を図る研修を実施する。	・・・	>>>>>>>>>>>>		・職員的能力をより発揮できる職場環境の構築	人事課		
				計画立案	研修の実施					

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・管理職及び新任係長級職員に対してハラスメント防止研修を実施し、ハラスメントのない職場環境づくりを推進する。				
取組内容	【取組開始】 ・医師を除く課長級以上の職員に対し、ハラスメント防止研修を実施（新型コロナウイルスの影響でeラーニングにて実施）し、135名が参加した。 ・医師を除く新任係長級職員に対し、ハラスメント防止研修を実施（新型コロナウイルスの影響で書籍配布にて実施）し、41名が参加した。				
取組による効果	・ハラスメントに対する意識の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ハラスメント防止研修の実施により、ハラスメントに対する意識の向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・職員のハラスメント防止意識向上のため、継続して実施することが必要である。
今後の具体的な取組予定	・管理職（令和3年度からは新任課長級職員対象）及び新任係長級職員に対してハラスメント防止研修を実施し、ハラスメントのない職場環境づくりを推進する。